

令和2年度実施分
協働事業・市民活動助成事業 報告書

令和2年度実施分 市民活動助成事業・協働事業一覧(目次)

●協働事業

No.	区分	事業名・団体名・担当課	予算額		決算額		ページ
			総事業費	負担金申請額	総事業費	負担金確定額	
1	3年目	災害時要配慮者支援事業 小金原地区会(小金原連合町会)防災部 危機管理課	¥560,000	¥500,000	¥364,926	¥313,326	1

■スタート助成

No.	区分	事業名・団体名	予算額		決算額		ページ
			総事業費	助成金申請額	総事業費	助成金確定額	
1	新規	地域の学び場創出「寺子屋こあら」事業 明地区こあら食堂の会	¥161,150	¥100,000	¥43,815	¥39,433	11
2	新規	みんなで育て、みんなで食べる 沿道での食べられる 景観づくり事業 EDIBLE WAY(エディブルウェイ)プロジェクトチーム	¥131,500	¥100,000	¥112,788	¥100,000	17
3	新規	[生きづらさ・ひきこもり] からだところに栄養をあたえる場づくり事業 生きづらわーほりプロジェクト	¥140,281	¥100,000	¥42,935	¥25,141	27
4	新規	介護予防リーダーの育成と介護予防運動の普及事業 松戸リーダーズクラブ	¥189,500	¥100,000	¥68,212	¥39,000	33
5	新規	居場所提供と家出女性保護事業 NPO法人仮り暮らし	¥1,025,000	¥100,000	¥313,283	¥100,000	39
6	新規	坂川水系自然環境向上事業 坂川の花桃を愛する会	¥300,000	¥100,000	¥115,120	¥100,000	45
7	2年目	音楽活動による街の活性化事業 松戸音楽活動同好会	¥216,000	¥100,000	¥136,302	¥100,000	53
8	新規	冒険山開放に伴う見守り事業 冒険山開放委員会	¥150,000	¥100,000	¥170,943	¥100,000	61
9	新規	イベント型+交流型の居場所「悠々」の提供事業 NPO法人さわやか福祉の会・松戸くらしの助っ人	¥682,000	¥100,000	¥272,858	¥100,000	67
10	新規	働くおとなのホッとできる居場所づくり事業 まちなす・Labo	¥230,000	¥100,000	¥104,556	¥92,128	73
11	2年目	子育てが楽しくなる地域コミュニティ事業 なないろのもり	¥217,500	¥100,000	¥232,300	¥100,000	79
12	2年目	野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！地域猫スタート 相談会事業 松戸地域猫スタートサポート	¥164,056	¥100,000	¥163,318	¥100,000	85
13	2年目	プレママ教室事業 ぶぶぶママ大学	¥177,800	¥100,000	¥108,963	¥98,066	91
14	新規	歴史ある団体や地域企業との協働による地域発展事業 北小金ドリームプロジェクト	¥385,000	¥100,000	¥87,120	¥53,892	101

■ステップアップ助成

No.	区分	事業名・団体名	予算額		決算額		ページ
			総事業費	助成金申請額	総事業費	助成金確定額	
1	新規	外国人の子どものための新教室設立事業 認定NPO法人外国人の子どものための勉強会	¥475,600	¥300,000	¥453,617	¥300,000	107
2	新規	松戸市における災害支援の文化を創造する事業 特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター	¥457,000	¥300,000	¥315,562	¥237,403	119
3	2年目	よく生き、よく逝くための基礎知識普及事業 一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター 千葉県支部	¥436,480	¥300,000	¥42,888	¥9,475	125
4	新規	ギャンブル依存症予防啓発事業 公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会	¥300,000	¥243,000	¥302,220	¥242,951	131
5	2年目	笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業 浅間台笑劇研究部	¥351,000	¥300,000	¥63,013	¥56,613	137

災害時要配慮者支援事業

小金原地区会(小金原連合町会)防災部

危機管理課

活動状況報告書

1 事業名称 災害時要配慮者支援事業

2 実施主体

■団体名： 小金原地区会（小金原連合町会）防災部

従事者数： 8名

所、細田、常盤、浜辺、新聞、若林、松田、柴田（栗防）

「防災フェア」を中止したため、実質的に参加できた人数が限定された。

団体概要： 設立年月日：平成28年 5月 20日

構成員・社員数：地区会代表者21人、防災リーダー64人（兼務有り）

団体の目的：①小金原地区住民の防災意識普及のため、松戸市をはじめ各種団体と連携して、安全・安心な街づくりに貢献する。

②小金原地区自主防災訓練を主導的に計画し実施する。

③広域災害の発生に対処した事案を協議し、町会及び自主防災組織や地区社協又は指定避難所管理者と連携して災害被害の減災や円滑な避難所運営に寄与する。

■事業担当課： 危機管理課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ・「防災フェア」開催に当たって、実行委員会を立ち上げ、開催に向けて準備する。
しかし、本年度は、「新型コロナ感染拡大」により、「3密」（密集・密接・密閉）を避ける呼び掛けが出されたため、実施を中止する決断をした。
→7月11日（土）の小金原地区会の会議で、自治会長・町会長に中止を報告。
- ・「避難所部会」の開催
- ・「巡回見守りを考える会」の開催
- ・コロナ禍の中でも何か実施できることは無いか？の模索。
→参加人数を限定した「防災リーダー研修会」を計画し、リモート講演会を企画。
→2回目の緊急事態宣言発出により、防災リーダーの参加は取り止め、リモート講演会のみを実施し、DVDに収録して小金原地区会関係の自治会・町会に配布することにした。
- ・「要配慮者支援マニュアル」の作成

危機管理課、松戸市医師会災害医療救護対策委員会担当理事・和田忠志医師と会議を進め乍ら「小金原要配慮者支援マニュアル」（改訂版）をまとめた。

■担当課の役割

- ・「防災フェア」での協力。 → 本件、コロナの関係で中止。
- ・「防災リーダー研修会」に松戸市医師会災害医療救護対策委員会担当理事・和田忠志医師の参加・協力依頼。
- ・「巡回見守りを考える会」開催に当たって、行政側の関係部署に参加要請。
- ・「要配慮者支援マニュアル」作成に当たり、松戸市医師会災害医療救護対策委員会担当理事・和田忠志医師への協力依頼。

4 事業の内容

① 「要配慮者支援マニュアル」（「避難所部会」での活動も含む）

日 付	作 業 内 容
7月25日（土）	第1回「避難所部会」開催。根木内中、根木内小、栗ヶ沢中、栗ヶ沢小、貝の花小の「収容避難所運営委員長」と栗防（栗ヶ沢中学地域防災委員会）推進事務局を含めた第1回目の打合わせ実施。 各避難所運営に関し、現状と課題などにつき議論 →各避難所で、直行職員が学校にのみ訪問していることを問題と考え、改めて、学校、直行職員、避難所運営委員会のメンバーとの打ち合わせを要望し、各避難所単位で、顔合わせ・話し合いを実施。 会場：小金原体育館 会議室 A
8月19日（水）	「要配慮者支援マニュアル」のまとめ方につき打ち合わせ 危機管理課、防災部
9月17日（木）	今後の進め方につき確認（松戸市医師会から和田先生が参加）
9月25日（金）	「要配慮者支援マニュアル」に関する打ち合わせ（第1回）
10月31日（土）	第2回「避難所部会」開催。根木内中、根木内小、栗ヶ沢中、栗ヶ沢小、貝の花小の「収容避難所運営委員長」と栗防（栗ヶ沢中学地域防災委員会）推進事務局を含めた第2回目の打合わせ実施。 各避難所運営に関し、現状と課題などにつき議論 会場：小金原市民センター 会議室
11月27日（金）	「要配慮者支援マニュアル」に関する打ち合わせ（第2回）
12月4日（金）	千葉県立松戸特別支援学校にて、「二次福祉避難所」について、近藤校長、安藤教頭と打ち合わせを実施。
1月15日（金）	「要配慮者支援マニュアル」に関する打ち合わせ（第3回） 以降は、メールでの連絡により、修正コメントを出し合い、印刷に向けての最終原稿としてまとめることにした。
1月23日（土）	第3回「避難所部会」を計画するもコロナ感染拡大防止のため中止。

2月10日(水)	千葉県立松戸特別支援学校にて開催された「地域交流会」に参加。 「二次福祉避難所のあり方」について検討
3月19日(金)	「要配慮者支援マニュアル」(本編)の印刷1,000部完了。
3月23日(火)	「要配慮者支援マニュアル」(資料集、様式集)の印刷 1,000部完了。

② 「小金原地区防災フェア」 新型コロナ感染拡大防止のため中止

日付	作業内容
6月5日(金)	コロナ感染拡大の中、今年度の進め方につき、担当者での打ち合わせ
6月30日(火)	コロナ感染拡大の中、今年度の進め方につき、担当者での打ち合わせ
7月11日(土)	小金原地区会代表者会議(自治会長、町会長参加)にて、今年度は「防災フェア」開催の中止を伝えた。

③ 「防災リーダー研修会」

当初計画の「講演会」をコロナ感染拡大防止の意味もあり、参加対象を一般住民から防災リーダーに変更し、「防災リーダー研修会」として開催した。

日付	作業内容
11月25日(水)	1月30日(土)に開催することで会場(小金原市民センター2Fホール)を予約。
12月11日(金)	「防災リーダー研修会」の内容について危機管理課と打ち合わせ
12月21日(月)	「防災リーダー研修会」の内容について危機管理課と打ち合わせ
12月28日(月)	小金原地区会の各自治会長・町会長宛に、「防災リーダー研修会」の開催案内と、各自治会・町会から防災リーダー2名の出席を依頼。
1月6日(水)	緊急事態宣言発出の可能性が大となったため、「防災リーダー研修会」に、会場に防災リーダーを集めての開催を中止することを決定。
1月8日(金)	各自治会長・町会長宛に、防災リーダーを集めての「防災リーダー研修会」を中止することを連絡。→後日、DVD配布することを連絡。
1月18日(月)	講師の粕谷氏(館山市社会福祉協議会)と、オンライン会議のテストを実施。
1月30日(土)	「防災リーダー研修会」を実施。 場所: Koganehara-Info 事務所(小金原3-15-7)
2月3日(水)	「防災リーダー研修会」で収録したDVDの内容確認。 →一部追加、修正を依頼。DVDのマスターデータを作成に取り組む。
3月10日(水)	「防災リーダー研修会」DVDを100枚製作完了。

※撮影(準備を含む)、収録編集、DVD製作はKoganehara-Infoにて実施。

④ 「要配慮者支援会議」の実施

日付	作業内容
	新型コロナ感染拡大により、会議開催が出来なかった。

⑤ 「DWA T」（災害福祉支援チーム）関係

DWA Tの組織化を目標としていたが、平常時から災害時の対応を行うため、「巡回見守りを考える会」を開催した。

日付	作業内容
10月29日（木）	昨年度から継続しており、今年度初めての開催ではあるが、第3回「巡回見守りを考える会」を開催。

⑥ 「その他」関係

日付	作業内容
11月17日（火）	松戸市社会福祉協議会担当者と打ち合わせ。

5 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

<p>目標①、③：「4 事業の内容」の通り、4. 新型コロナウイルス感染拡大により、開催できなかった。</p> <p>目標②：講演会開催は、「防災リーダー研修会」として開催した。講演会の内容はDVDに収録し、小金原地区会に関係する町会・自治会に配布した。</p> <p>目標④：「要配慮者支援マニュアル」については、松戸市医師会・和田忠志先生と危機管理課との会議を重ね、「本編」と「資料集（含む様式集）」に分けて冊子とし、それぞれ1,000部を印刷した。</p> <p>目標⑤：DWA Tの組織に関しては、専門職の人の参加が課題（ボランティアではなく対価を考慮する必要があるという現実）が残ったが、平常時からの「巡回見守り」体制を構築することが重要であると認識した。</p>

(2) 取り組んだ課題の解決について

<p>◆解決できたこと</p> <p>①「福祉避難所」の整備に関しては、徐々にではあるが、千葉県立松戸特別支援学校との協力体制が構築でき、特別支援学校で開催された「地域交流会」に小金原地区会防災部が参加し、協力・支援の基礎固めの進展を継続出来ている。</p> <p>②新型コロナ感染拡大の状況の中、当初計画にはなかったが、リモートでの講演会「防災リーダー研修会」を企画し、予算措置に関し市民自治課の了承を得て、取り組んだ。</p>

成果として、講演内容及び質疑応答の内容をDVDに記録し、100枚製作した。
関係町会・自治会に配布し、防災リーダーに研修として活用したい。

◆解決できなかったこと

①小金原DWAT（災害福祉支援チーム）の結成

具体的に、それぞれの区域（町会・自治会）での担当者を決めるまでには至らなかった。

6 今後の事業展開

協働事業として「災害時要配慮者支援事業」を3年間実施し、如何に「平時」において「要配慮者」のことを考えておくことが大切であると実感した。

小金原地区会、町会・自治会、地域包括センターに加えて、オレンジ協力員、民生児童委員、高齢者相談員との連携を行い、「平時」からの支援体制をつくることに尽きると考える。

災害が発生すると、「誰もが、要配慮者になり得る」ことを肝に銘じておきたい。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 460,925	¥ 269,843	¥ 191,082	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 60,000	¥ 51,600	¥ 8,400	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 60,000	¥ 51,600	¥ 8,400	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	¥ 313,326	¥ 186,674	←精算額
合計額 (D) = (B + C)		¥ 560,000	¥ 364,926	¥ 195,074	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 50,000	¥ 0	¥ 50,000	外部講師謝礼を予算化するも、講師の粕谷聡氏より、「謝礼辞退」の申し入れがあり、使用せず。
	使用料	¥ 10,000	¥ 1,273	¥ 8,727	7/25：小金原体育館会議室A：440円 10/31：市民センター会議室：833円
	消耗品費①	¥ 120,000	¥ 0	¥ 120,000	防災啓発グッズ 新型コロナのため、「防災フェア」中止のため、使用せず。
	消耗品費②	¥ 40,000	¥ 27,820	¥ 12,180	事務用品、コピー用紙、インク代、他
	通信費	¥ 2,000	¥ 180	¥ 1,820	「防災リーダー研修会」講師にDVDを2枚送付。尚、各自治会長・町会長には、ご自宅のポストに直接届けた。
	印刷製本費①	¥ 288,000	¥ 108,053	¥ 179,947	「要配慮者支援マニュアル」印刷費（本編：1,000部、41,780円、資料・様式集：1,000部：65,121円） その他要配慮者支援マニュアル関係印刷費：276円 会議資料印刷費：210円+120円+166円 「防災リーダー研修会」関係印刷費 220円+160円
	委託料	¥ 0	¥ 220,000	¥ ▲220,000	「防災リーダー研修会」開催に伴うDVD製作（準備：66,000円、収録・編集：110,000円、DVD100枚製作：44,000円） ※緊急事態宣言発出により、DVD配布としたため科目を追加。
	食糧費	¥ 50,000	¥ 0	¥ 50,000	コロナのため「防災フェア」を中止としたため、使用せず。
	対象経費の合計 (E)		¥ 560,000	¥ 357,326	¥ 202,674
（その他）経費	振込手数料		¥ 300	¥ ▲300	Koganehara-Infoへの振込（3回） 小金原地区会防災部負担
	ボイスレコーダー		¥ 7,300	¥ ▲7,300	ボイスレコーダー 7,300円（5,000円超のため、対象外）
				¥ 0	
その他経費の合計額 (F)		¥ 0	¥ 7,600	¥ ▲7,600	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 560,000	¥ 364,926	¥ 195,074	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 186,674
------------	-----------

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 51,600	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 51,600	
市	松戸市負担金	¥ 313,326	
	合計額	¥ 364,926	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
	使用料	¥ 1,273	7/25：小金原体育館会議室A：440円 10/31：市民センター会議室：833円
	消耗品費②	¥ 27,820	7/6インク代：1,053円、7/17インク代：5,951円、8/31コピー用紙：303円、9/9コピー用紙：440円、9/11インク代：2,052円、9/16インク代：2,232円、10/5インク代：3,258円、11/1インク代：3,161円、11/17インク代：2,662円、11/26封筒229円、2/18コピー用紙330円、2/22インク代：5,920円、3/11A4ファイル：229円
	通信費	¥ 180	「防災リーダー研修会」講師（館山市社会福祉協議会・粕谷聡氏）にDVDを2枚送付：180円。尚、各自治会長・町会長には、ご自宅のポストに直接届けた。
	印刷製本費①	¥ 108,053	「要配慮者支援マニュアル」印刷費（本編：1,000部、41,780円、資料・様式集：1,000部：65,121円） その他要配慮者支援マニュアル関係印刷費：276円 会議資料印刷費：210円+120円+166円 「防災リーダー研修会」関係印刷費 220円+160円
	委託料	¥ 220,000	「防災リーダー研修会」開催に伴うDVD製作 （準備：66,000円、収録・編集：110,000円、DVD100枚製作：44,000円）
		対象経費の合計	¥ 357,326
その他経費	振込手数料	¥ 300	Koganehara-Infoへの振込（3回）
	ボイスレコーダー	¥ 7,300	ボイスレコーダー 7,300円（5000円超のため、対象外）
	その他経費の合計	¥ 7,600	
	合計額	¥ 364,926	

労力換算計算書

(単位：円)

項目	換算額	積算内訳
活動計画		人数×時間回数×895円
「防災フェア」検討会議・打ち合わせ (6/5、6/30、7/11)	10,740 円	2 人 × 2 h × 3 回 × 895 円
小金原地区会会議で、町会長・自治会長に「防災フェア」中止を報告 (7/11)	1,790 円	1 人 × 2 h × 1 回 × 895 円
「避難所部会」会議 (7/25、10/31)	37,590 円	7 人 × 3 h × 2 回 × 895 円
「巡回見守りを考える会」会議 (10/29)	5,370 円	2 人 × 3 h × 1 回 × 895 円
会議議事録作成 (避難所運営委員会：2回)	7,160 円	1 人 × 4 h × 2 回 × 895 円
会議議事録作成 (巡回見守りを考える会：1回)	7,160 円	1 人 × 8 h × 1 回 × 895 円
リモート会議の実情把握・「ZOOM」技術理解 (所部長、他のリモート会議参加での研修含む)	26,850 円	2 人 × 3 h × 5 回 × 895 円
「要配慮者支援マニュアル」会議 (8/19、9/17、9/25、11/27、1/15)	26,850 円	2 人 × 3 h × 5 回 × 895 円
「要配慮者支援マニュアル」印刷準備 (内容最終確認)	17,900 円	2 人 × 2 h × 5 回 × 895 円
千葉県立松戸特別支援学校「地域交流会」 (2/10)	6,713 円	3 人 × 2.5 h × 1 回 × 895 円
リモート講演会「防災リーダー研修会」準備打ち合わせ (11/25、12/11、12/21、1/15)	21,480 円	2 人 × 3 h × 4 回 × 895 円
リモート講演会「防災リーダー研修会」企画・実施準備 (1/18)	3,580 円	2 人 × 2 h × 1 回 × 895 円
リモート講演会「防災リーダー研修会」実施 (1/30)	5,370 円	2 人 × 3 h × 1 回 × 895 円
「防災リーダー研修会」実施DVD収録内容確認 (2/3、2/15)	5,370 円	2 人 × 1.5 h × 2 回 × 895 円
「ふりかえり会議」資料まとめ・報告 (11/25会議参加含む)	7,160 円	2 人 × 2 h × 2 回 × 895 円
報告書のまとめ (会計含む)	26,850 円	2 人 × 3 h × 5 回 × 895 円
最終報告書ファイル作成 (3部)	4,475 円	1 人 × 5 h × 1 回 × 895 円
インターネット印刷研修	5,370 円	1 人 × 1 h × 6 回 × 895 円
会議開催のための連絡、打合せ (Eメール、電話)	31,325 円	2 人 × 0.5 h × 35 回 × 895 円
小金原地区会への事業報告、配布資料まとめ	10,740 円	2 人 × 3 h × 2 回 × 895 円
合計 (A)	269,843 円	

地域の学び場創出「寺子屋こあら」事業

明地区こあら食堂の会

活動状況報告書

1 事業名称 地域の学び場創出「寺子屋こあら」事業

2 実施主体

■団体名： 明地区こあら食堂の会

従事者数： 7名

団体概要： 地域の子ども、大人すべての世代を対象とした地域交流の場として食堂やその他行事を開催し、子どもたちや保護者が抱える問題を地域と共有し、互いに支えあい、助け合うことを目的とする団体。

3 事業の実施内容

【事業計画の「寺子屋こあら」を「寺子屋こあら」みらいフェスタ出展として実施・イベントにて配布するためのPRリーフレットの作成】

日付	作業内容
2021年2月21日	事業企画打合せ
3月10日	ブース内容等、打合せ
3月17日	リーフレット作成のための打合せ
3月18日、19日	問題作成
3月20日	事業企画打合せ（参加スタッフ等）
3月2日～23日	事業告知活動（SNS）
3月26日	前日準備
3月27日	事業実施 ブース参加者67名

【事業計画のこあら食堂同時開催の「寺子屋こあら」を中止】

2020年4月～2021年3月 毎月1回開催予定のもの

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

みらいフェスタにブースを出展して事業を実施しました。内容は謎解き、クイズ、クロスワードを解くというものでしたが、問題作成にもこだわり、年代別、難易度も三段階に分け、子どもによって異なるレベル、内容にすることで、子どもに合わせた問題を解いてもらうよう工夫を凝らしました。

また、子どもの主体性を尊重しなるべく自分で解くように促し、スタッフは行き詰った際に助言を与えるに留めました。

実際に、スタッフや親に答えを聞く子どもは少なく、出来るだけ自分で解こうとする子どもが多く、どうしても分からない子どもはスタッフが対話の中で助言、ヒントを与えると再び自分で考え出す、そんな子どもが多く見受けられました。

新型コロナウイルスの影響で継続して寺子屋を開催することが出来なかったため、毎月一定の参加、気軽に勉強ができる場所、地域に根付いた寺子屋となるという事業目的は残念ながら達成できませんでしたが、『学ぶこと、勉強ができた喜びを知ってほしい』という事業目的は達成できたと言えます。

(2) 取り組んだ課題の解決について

「子どもたちの受け皿となるような居場所を作り、子どもたちの能力、意欲にあった個別学習サポートを行い、子どもの学習意欲を醸成し、将来の可能性を広げること」という事業目的でもある課題は、継続して寺子屋を開催しなければ解決したとは言えないため、今回の事業では達成できませんでした。

しかしながら、寺子屋事業はまだこれから実施していく段階ではありますが、こういった居場所があるということをイベント参加者に示すことができ、周知活動、及び勉強ができた喜びを知ってもらう、という面においてはある程度達成できたものと考えます。

5 今後の事業展開

今後は新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、「こあら食堂」開催と同時に「寺子屋こあら」実施に向けて、模索していきます。

そこで参加した子ども、保護者などの要望を聞き、方向性を探りながら継続できるよう、努力します。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 61,150	¥ 4,382	¥ 56,768	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 61,150	¥ 4,382	¥ 56,768	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 39,433	¥ 60,567	←精算額
	合計額 (C) = (A + B)	¥ 161,150	¥ 43,815	¥ 117,335	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 80,550	¥ 2,250	¥ 78,300	みらいフェスタ参加費及び椅子机追加使用料：2,250円
	消耗品費(教材費)	¥ 30,000	¥ 1,705	¥ 28,295	出題用書籍 みんなでなぞなぞ3・4年生 単価@650円(税抜き) クロスワードパズル小学1・2・3年 単価@900円(税抜き)
	消耗品費	¥ 20,000	¥ 8,030	¥ 11,970	文房具：全て100円均一(@110円)、 鉛筆セット*12、ノート*11、鉛筆削り*4、ホ`ル`ン*4、蛍光マ`カ`*2 消しゴム*15、定規セット*13、赤青鉛筆セット*12
	消耗品費	¥ 19,200	¥ 0	¥ 19,200	新型コロナウイルスの影響で、通常開催が出来ず、案内チラシを作成しなかったため購入なし
	印刷製本費	¥ 11,400	¥ 31,830	¥ ▲20,430	PR用リーフレット 31,020円(1000枚) 問題プリントコピー：810円(81枚)
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計(D)	¥ 161,150	¥ 43,815	¥ 117,335	
(その他経費)				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額(E)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	合計額(F) = (D + E)	¥ 161,150	¥ 43,815	¥ 117,335	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 60,567
------------	----------

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	団体拠出金	¥ 4,382	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 4,382	
市	市民活動助成金	¥ 39,433	
	合 計 額	¥ 43,815	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 2,250	みらいフェスタ参加費及び椅子机追加使用料：2,250円
	消耗品費(教材費)	¥ 1,705	出題用書籍 みんなでなぞなぞ3・4年生 単価@650円（税抜き） クロスワードパズル小学1・2・3年 単価@900円（税抜き）
	消耗品費	¥ 8,030	文房具：全て100円均一(@110円)、 鉛筆セット*12、ノート*11、鉛筆削り*4、ホーリング*4、蛍光マーカー*2 消しゴム*15、定規セット*13、赤青鉛筆セット*12
	印刷製本費	¥ 31,830	PR用リーフレット 31,020円（1000枚） 問題プリントコピー：810円（81枚）
		対象経費の合計	¥ 43,815
その他経費			
	その他経費の合計	¥ 0	
	合 計 額	¥ 43,815	

みんなで育て、みんなで食べる
沿道での食べられる景観づくり事業

EDIBLE WAY (エディブルウェイ)
プロジェクトチーム

活動状況報告書

1 事業名称 みんなで育て、みんなで食べる沿道での食べられる景観づくり事業

2 実施主体

■団体名： EDIBLE WAY (エディブルウェイ) プロジェクトチーム

従事者数： 13名

団体概要： 沿道の住宅や店舗前のスペースで、野菜やハーブなど食べられる植物を育てる「食べられる景観」づくりをし、収穫物を使った共食活動やものづくり活動を行うことで、住民の交流のきっかけづくりや関係構築を図る。

3 事業の実施内容

(1) プランターへ苗植え講座開催と植え付け活動 (4-5 月・9-10 月) 【事業計画の苗植え講座は資料配布にて実施、植え付け活動は、サポートが必要な参加者へのみ実施。4-5 月は、タネを郵送にて配布。】

日 付	作 業 内 容
4 月 9 日	2020 年度年間計画のお知らせ、春夏野菜タネ・苗リストと植え替えの案内 (ポスティング)
4 月 21 日	コロナ対策など今後の活動に関して打ち合わせ
4 月 27 日	タネ、植え方説明書の配布 (郵送)
6 月 2 日	タネ、植え方説明書の配布 (ポスティング)
6 月 16 日～18 日	植え付けサポート活動
6 月 30 日	コロナ対策について検討打ち合わせ
9 月 15 日	冬野菜タネ・苗リストと植え替えの案内 (ポスティング)
10 月 3 日	タネ、苗、土の再生材、植え方説明書配布
10 月 10 日	松戸三丁目東自治会会合にてエディブルウェイ新規参加者募集・掲示板で募集
10 月 13 日	肥料の配布
10 月 13・18 日、11 月 8 日	植え付けサポート活動
3 月 20 日	2021 年度春夏野菜タネ・苗リスト配布、意向調査アンケート、2020 年度活動レポートの配布 (ポスティング)
3 月 23 日	苗用種まき

(2) 子どもと一緒にクラフト・アートワークショップの開催の実施 **【事業計画よりオンライン併用型イベントとして実施（6月回は中止、11月回はオンライン併用で実施）】**

日 付	作 業 内 容
9月21日	ワークショップ材料下見、クラフト（トムテ）試作、打ち合わせ（21世紀の森と広場）
9月26日	ワークショップ打ち合わせ（岩瀬自治会館）
10月10日	松戸三丁目東自治会会合にてワークショップとエディブルウェイ新規参加者募集のお知らせ
10月18日	zoomテスト、ワークショップ打ち合わせ（松戸三丁目東自治会館＋zoom）
11月1日	ワークショップ用材料集め、準備（21世紀の森と広場）
11月15日	ワークショップ準備（岩瀬自治会館）
11月17日	ワークショップ準備（岩瀬自治会館）
11月21日	クラフトワークショップ実施（岩瀬自治会館）参加者12名
11月29日	クラフトワークショップ実施（松戸三丁目東自治会館＋zoom）会場参加者11名、zoom参加者2名、プリンター設置用トムテづくり・プリンターに設置

(3) たくさん育つハーブペーストづくりやハーブティ講座 **【事業計画のハーブイベントをハーブクラフトワークショップとしてスケジュールを変更して実施（7月予定回は中止、12月20日予定回は1月31日に延期後さらに3月14日に延期し実施予定）】**

日 付	作 業 内 容
12月1日	ワークショップ相談（オンライン）
12月5日	ワークショップ準備、打ち合わせ（メンバー自宅）
12月21日	松戸三丁目東自治会会合にてワークショップのお知らせ
12月27日	ハーブクラフト材料検討・試作、ワークショップ打ち合わせ（メンバー畑）
2月21日	クラフトワークショップ材料下見、打ち合わせ（21世紀の森と広場）
3月6日	ワークショップ準備、打ち合わせ（松戸三丁目東自治会館）
3月14日	ハーブクラフトワークショップ実施（松戸三丁目東自治会館）参加者18名

(4) みんなで食べる収穫祭 **【事業計画の共食イベントを中止】**

(5) 地域住民へ報告会 **【事業計画の報告会を中止、年間活動報告レポート配布】**

2020年度活動レポートを作成し、参加者に配布し（ポスティング）、来年度の意向を伺うア

ンケートシート（郵送にて回収）を用いてコミュニケーションを図る。

【その他】

プランターの見回り・管理活動【事業計画の見回り・管理を中止。管理は参加者各家庭で実施。サポートが必要な時に、個別に対応。】

6月16日～18日	サポート活動
10月13・18日、11月8日	サポート活動

千葉大学学生有志グループみどりの回廊ワーキンググループが発行する瓦版への記事掲載

日 付	作 業 内 容
4月4～5日	4月号記事作成・編集
4月9日	4月号・お手紙をポスティングにて配布
4月25日～5月2日	5月号記事作成・編集
5月23～24日	5月号・お手紙をポスティングにて配布
5月26日	6月号記事作成・編集
6月30日	7月号記事作成・編集
7月16日	6・7月号・お手紙をポスティングにて配布
7月28日	8月号記事作成・編集
8月11日	8月号・お手紙をポスティングにて配布
8月31日	9月号記事作成・編集
9月15日	9月号・お手紙をポスティングにて配布
10月2～3日	10月号記事作成・編集
10月3日	10月号・お手紙をポスティングにて配布
10月26～27日	11月号記事作成・編集
11月8日	11月号・お手紙・ワークショップ案内をポスティングにて配布
12月1～2日	12月号記事作成・編集
12月15日	12月号・お手紙・ワークショップチラシをポスティングにて配布
12月28日～1月3日	1月号記事作成・編集
1月23日	1月号・お手紙をポスティングにて配布
1月25～31日	2月号記事作成・編集
2月7日	2月号・お手紙をポスティングにて配布
2月23日～28日	3月号記事作成・編集
3月20日	3月号・お手紙をポスティングにて配布
3月25～28日	4月号記事執筆・編集

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

新型コロナウイルス感染症の影響で、活動を縮小せざるをえませんでした。特に、9月までの前半は、イベントの開催を中止しました。事業目的については、食べられる景観づくり活動は、プランターを設置している各家庭（47箇所）で行いました。育てている野菜のことが参加者同士が道で会った際の話題になっていたり、水やりなどの世話の際に、通行人と挨拶を交わすなど日常のささやかなコミュニケーションのきっかけになっており、目標はある程度達成できたと思います。感染症予防のため、共食活動は、全面的に中止にし、育てた野菜は各家庭で食べていただいています。

目標の達成については

・新規参加者について：町会の回覧板が新型コロナウイルス対策で廃止になり、町会の会合での案内と掲示板へのチラシ掲示で新規参加者を募りました。25箇所が目標であった新規設置は2軒にとどまりました。そのほかに、申し込みが2軒ありましたが対象地から離れたエリアだったことや、マンションで沿道から見えない場所にしか設置できないため、受け入れができませんでした。マンション住民のプランター栽培への参加については、今後の課題ですが、クラフトワークショップにはご参加いただくことができました。

・植物を用いたイベントについて：6回を目標にしていたイベントの実施は3回の開催となりました。千葉大学園芸学部柳井研究室の、樹林地由来の剪定枝や伐採木の利活用を推進するプロジェクトチームと協力し、クラフトワークショップの企画をしました。剪定枝を活用したクラフト（トムテ）をつくるワークショップ（11月）は、岩瀬自治会館開催が参加者12名、松戸三丁目東自治会館開催が参加者13名（会場：11名 zoom：2名）で合計25名、ハーブスワッグづくり（3月）は参加者18名となりました。クラフトをつくるだけではなく、剪定枝から環境循環を学ぶ資料や、クラフトのテーマにした季節の行事の解説資料などを作成し、楽しく地域環境を学びながらものづくりを行う機会を提供できました。11月のワークショップは、エディブルウェイの手法でハーブを育てている岩瀬ハーブプロジェクトとも協力し、活動を広げることができました。11月にクラフト（トムテ）を全軒のプランターに設置したことで、それぞれのプランターを見て楽しむ機会も増えたそうです。お子さんがいる方からは、遠出する機会が減る中で、地域で楽しめるものができてよかったと喜ばれました。

・「報告会」について：新型コロナウイルスの影響で、集まる活動報告会は中止にしました。本来は、この場で、皆さんと1年の振り返りをし、次年度の目標についてお話しし、新規参加者の巻き込みを図るなど交流とつながりづくりの機会と考えていました。そこで、2020年度活動レポートを作成し、参加者に配布し、今年度の活動の感想や来年度の意向を伺うアンケートシートを用いてコミュニケーションを図ることになりました。アンケートの結果をまとめ、4月のお手紙と一緒に配布予定です。

・「毎月発行する瓦版」について：毎月活動報告を掲載し、Facebook ページで公開し、紙媒体は参加者に配布するほか、エリアの店舗（ルウアンタイ、ラ・マシア、クリーニングみゆき、スターバックスプレーレ松戸店）にも設置し、情報発信を行いました。

(2) 取り組んだ課題の解決について

感染症対策のため、共食活動は中止になり、ワークショップも人数を制限して行うことになりました。食の活動はできませんでしたが、ものづくりの活動は、千葉大学のプロジェクトとの協力により、身近な環境で出た剪定枝を使ったクラフト活動ができ、より地域環境を身近に感じる学びの機会を提供することができました。子ども会の告知協力を通じて、これまでプロジェクトに接点のなかった方の参加があり、ワークショップへ2回とも参加して下さる方もいました。プランターに設置したクラフトは、参加者や地域の方からも大変好評で、通行人との会話が生まれるなど、沿道での交流を生み出しました。感染症対策から、対面の交流機会を設けることが難しい状況になりましたが、沿道での園芸活動やクラフト設置は、挨拶程度の交流を促しており、コロナ禍の地域活動の可能性を感じさせるものでした。

前年度までは千葉大学の大学院生が中心に企画・運営を行なってきましたが、前年度まで運営を中心に行ってきた研究室が教授退官のため、閉鎖になり、今年度は、企画・運営に地域住民の参加者の方にも入っていただき、企画・運営を一緒に行うことができました。クラフト活動では、千葉大学柳井研究室のプロジェクトチームと協働することもできました。さまざまなアイデアや知識、技術を持ち寄り、運営チーム、参加者の皆さんとともに楽しみながら、学び合いながら活動を行うことができました。

5 今後の事業展開

町会のイベントなども中止になり、告知は、参加者へのチラシと町内の掲示のみであったため、新規参加者は2軒のみでした。新規参加者を募るための有効な告知方法を改めて検討したいと考えています。また、地域の景観づくりに有効な設置場所も改めて検討し、適地を絞って、参加場所をお誘いすることも今後の展開として進めたいと考えています。

来年度は、引き続き、共食イベント開催の見通しはつかないので、沿道での食べられる景観（園芸活動）とものづくり活動をさらに楽しめるように、さまざまなアイデアを取り入れ、工夫をして、活発に活動を続けたいです。3月に開催したハーブクラフトワークショップでは、エディブルウェイ参加者の方が、一部の花材を提供してくださいました。その話を聞いた参加者の方が、今育てている植物が上手く育ったら次のワークショップで使ってと申し出てくださいました。このように、今後、クラフトワークショップの材料も地域で持ち寄ることができるようになれば、活動を継続していく力になり、植物を育てる動機付けにもなり、活動費を抑えることができるので、みんなで育ててみんなでつくる取り組み

をさらに発展させたいと考えています。

また、多くの人と協働できるきっかけづくりにつながるように、活動の情報発信も積極的に行いたいと考えています。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	イベント(WS・講座)参加費	¥ 18,000	¥ 10,400	¥ 7,600	ワークショップ参加者 (11/21, 29) 25人*200円 ワークショップ参加者 (3/14) 18人*300円
	団体拠出金	¥ 13,500	¥ 2,388	¥ 11,112	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 31,500	¥ 12,788	¥ 18,712	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 131,500	¥ 112,788	¥ 18,712	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 106,000	¥ 87,671	¥ 18,329	タネ・苗 11885円、堆肥 25828円、肥料 1008円、プランター 4893円 他
	消耗品費 (新型コロナウイルス対策)	¥ 0	¥ 3,897	¥ ▲3,897	マスク30枚 428円 (税抜) ×1 手指用消毒アルコール 570円 (税抜) ×2 他
	使用料及び賃借料	¥ 12,000	¥ 11,560	¥ 440	会場使用料松戸三丁目東自治会館800円×4時間、400円×6時間 ポケットWiFiレンタル料 1880円×2回 zoom使用料 2200円×1ヶ月
	食糧費	¥ 13,500	¥ 0	¥ 13,500	新型コロナウイルス感染症対策のため、飲食にかかわる活動を一切中止し、お茶提供も取りやめた。
	印刷製本費	¥ 0	¥ 1,950	¥ ▲1,950	配布物印刷原稿 10円×1枚、A4コピー 5円×53枚、A3コピー 10円×54枚 他
	通信運搬費	¥ 0	¥ 5,090	¥ ▲5,090	タネ郵送用 切手 84円×8人、94円×5人 アンケート回収用 切手 84円×47人
	保険料	¥ 0	¥ 1,120	¥ ▲1,120	ボランティア活動保険 ワークショップ 560円×2回
				¥ 0	
				¥ 0	
		対象経費の合計(D)	¥ 131,500	¥ 111,288	¥ 20,212
(その他経費)				¥ 0	
	交通費		¥ 1,500	¥ ▲1,500	クラフト資材木材運搬 (タクシー代)
	その他経費の合計額 (E)	¥ 0	¥ 1,500	¥ ▲1,500	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 131,500	¥ 112,788	¥ 18,712	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	講座参加費	¥ 10,400	ワークショップ参加者 (11/21, 29) 25人*200円=5,000円 ワークショップ参加者 (3/14) 18人*300円目5,400円
	団体拠出金	¥ 2,388	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 12,788	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合計額	¥ 112,788	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項 (用途など)
	消耗品費	¥ 87,671	食べられる景観プランター用 (2020年春夏) タネ、タネ小分け用袋 546円、タネ 948円、苗 2855円、苗用ポット 1537円、タネ 2200円 クラフトワークショップ用 ナイフ 849円×2=1,698円、ノコギリ 1399円×2=2,798円 他
	消耗品費 (新型コロナウイルス対策)	¥ 3,897	マスク30枚 (1個) 470円 手指用消毒アルコール (2個) 1,254円 消毒用アルコールシート (2個) 1,095円 使い捨て手袋 (1個) 1,078円
	使用料および賃借料	¥ 11,560	会場使用料 (基本料金 800円/時間、令和3年3月は、利用料が半額400円/時間) 11/29 クラフトワークショップ実施分 松戸三丁目東自治会館 800円×4時間=3,200円 3/6 ハーブクラフトワークショップ・苗づくり打ち合わせ 松戸三丁目東自治会館 400円×2時間=800円 3/14 ハーブクラフトワークショップ実施分 松戸三丁目東自治会館 400円×4時間=1,600円 ポケットWiFi レンタル料 (打ち合わせ、クラフトワークショップ実施) 1,880円×2回=3,760円 オンラインミーティングzoom使用料 2,200円×1ヶ月
	印刷製本費	¥ 1,950	4/9 配布 (2020年度年間計画のお知らせ、春夏野菜タネ・苗リスト、お手紙、4月号回廊通信) 印刷 原稿 10円×1枚、A4コピー 5円×53枚=265円、原稿持ち込みA3コピー 10円×54枚=540円 5/23 配布 (お手紙、5月号回廊通信) 原稿 20円×3枚=60円、コピーA4 5円×107枚=535円 他 (サイン用素材コピー、チラシ印刷コピーなど)
	通信運搬費	¥ 5,090	タネ郵送用 切手 84円×8人=672円、94円×5人=470円 アンケート回収用 切手 84円×47人=3,948円
	保険料	¥ 1,120	ボランティア活動保険 クラフトワークショップ・ハーブクラフトワークショップ実施分 560円×2回=1,120円
	対象経費の合計	¥ 111,288	
その他経費	食糧費	¥ 0	
	交通費	¥ 1,500	クラフト資材木材運搬 (9/21タクシー代)
	その他経費の合計	¥ 1,500	
	合計額	¥ 112,788	

[生きづらさ・ひきこもり] からだとこころに
栄養をあたえる場づくり事業

生きづらわーほりプロジェクト

活動状況報告書

1 事業名称 [生きづらさ・ひきこもり] からだとところに栄養をあたえる場づくり事業

2 実施主体

■団体名： 生きづらわーほりプロジェクト

従事者数： 7 名

団体概要： ひきこもり当事者など生きづらさを抱えた人が、孤立を解消し、生きづらさを和らげ、生き生きと暮らしていけるようにするため、下記の観点で一連の仕組みを設け、当事者一人ひとりの行動をアシストすることを目指して活動している。

- ・当事者が安心して過ごせる・話せる・参加できる場を多くつくる
- ・そのような場があることを当事者に伝える
- ・当事者が場に出ていきやすいようにサポートする
- ・場とつながった当事者を見守りフォローする

3 事業の実施内容

I 生きづら Cooking-Meeting「つたわり」の実施 **【事業計画より開催時期を変更（回数の削減）および内容を簡素化して実施】**

日 付	作 業 内 容
8月23日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者4人
9月27日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者4人
10月25日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者2人
11月22日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者7人
12月27日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者3人
1月24日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者3人
2月28日	イベント「つたわりミニ」の開催 新松戸市民センター 参加者5人
3月14日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者2人

II ハート to ハートまつど懇談会の実施 【事業計画より開催時期を変更して実施】

日 付	作 業 内 容
9月4日～5日	講座企画打ち合わせ
9月28日～10月16日	事業PRパネル展示
11月11日	チラシの印刷
12月14日	市の広報掲載依頼（1月1日号）
1月17日	イベント「ハート to ハートまつど懇談会」の開催 まつど市民活動サポートセンター 登壇者3人（外部講師：ひきこもり経験者①、ひきこもり経験者② 内部講師：アドバイザー 高橋 雅樹） 参加者12人（オンライン参加含む）

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

「つたわり」については、計画時より開催回数が少なく目標としていた人数には届きませんでしたが、毎回一定の参加者がありました。継続的に開催していくことによって情報が徐々に伝わり、初めての参加者も少しずつ増えてきました。

「ハート to ハートまつど懇談会」については、参加者数は目標には達しませんでした。緊急事態宣言が発令されている中で対話・交流することができました。参加者は、ひきこもり当事者・経験者がほとんどを占め、家族や関心のある方の参加はすくなく、その分特に共通して関心のある「就労」というテーマでの対話を深めることができました。

(2) 取り組んだ課題の解決について

ひきこもり当事者・経験者が定期的集まる場を開催したことにより、ひきこもり状態から一歩を踏み出しやすい状況をつくることができました。当事者に情報を伝えることが重要なため、「ひきこもり応援ネット」などでつながりづくりに努めてきましたが、まだ広くは展開できていないため、今後も継続的に告知をしていくとともに、その強化も必要と考えています。

5 今後の事業展開

本年度は、本助成事業で実施した活動以外にも松戸市内での活動を開始したこと、団体の体制面の強化を図れたこと、また市内の他の市民団体関係者との関係づくりを進められたことなど活動の幅が広がってきましたので、それらと相乗効果を発揮して、ひきこもり当事者が社会につながるような当事者をサポートする仕組みを構築していきたいと考えています。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 16,281	¥ 12,469	¥ 3,812	事業費の一部を団体の会計より拠出
	「つたわりミニ」参加費	¥ 18,000	¥ 3,825	¥ 14,175	参加費は参加者自身が設定する方式にて実施
	「ハートtoハートまつど懇談会」参加費	¥ 6,000	¥ 1,500	¥ 4,500	300円×5人
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 40,281	¥ 17,794	¥ 22,487	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 25,141	¥ 74,859	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 140,281	¥ 42,935	¥ 97,346	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	外部講師謝礼 5,000円×2人×1回
	消耗品費	¥ 1,400	¥ 0	¥ 1,400	新型コロナウイルス感染症の影響で内容を変更したため支出せず (台ふきん、洗剤、スポンジ) —
		¥ 0	¥ 3,613	¥ ▲3,613	Webカメラ 3,503円 三脚 110円
		¥ 0	¥ 1,320	¥ ▲1,320	コップ 770円 マーカー 220円 名札 220円 ファイル 110円
	食糧費	¥ 59,100	¥ 0	¥ 59,100	新型コロナウイルス感染症の影響で内容を変更したため支出せず (食材、飲み物) —
			¥ 3,367	¥ ▲3,367	参加者用飲み物代 3,367円
	印刷製本費	¥ 10,241	¥ 3,105	¥ 7,136	チラシ印刷 3,105円
			¥ 150	¥ ▲150	コピー代 10円×15枚
	使用料	¥ 32,940	¥ 5,060	¥ 27,880	会場使用料 (まつど市民活動サポートセンター 第1会議室) 220円×延べ23時間
			¥ 1,320	¥ ▲1,320	会場使用料 (新松戸市民センター 和室) 440円×3時間
		¥ 0	¥ 0	会場使用料 (まつど市民活動サポートセンター 大会議室) 公用予約により使用のため0円	
	対象経費の合計 (D)	¥ 113,681	¥ 27,935	¥ 85,746	
(その他経費)	交通費	¥ 26,600	¥ 15,000	¥ 11,600	運営メンバーの交通費 600円×延べ25人
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 26,600	¥ 15,000	¥ 11,600	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 140,281	¥ 42,935	¥ 97,346	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 74,859
-----	----------

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 12,469	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	「つたわりミニ」参加費	¥ 3,825	参加費設定なし×8回開催 延べ25人参加 (※参加費は参加者自身が設定する方式にて実施)
	「ハートtoハートまつど懇談会」参加費	¥ 1,500	300円×5人
	自己資金の合計額	¥ 17,794	
市	市民活動助成金	¥ 25,141	
合計額		¥ 42,935	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 10,000	講師謝礼 外部講師 ひきこもり経験者① 5,000円×1回 外部講師 ひきこもり経験者② 5,000円×1回
	消耗品費	¥ 4,933	オンライン参加用機材 Webカメラ 3,503円 三脚 110円 イベント開催用品 コップ 770円 マーカー 220円 名札 220円 ファイル 110円
	食糧費	¥ 3,367	参加者用飲み物代 9/27 287円 10/25 385円 11/22 306円 12/27 287円 1/24 790円 2/28 433円 3/14 879円
	印刷製本費	¥ 3,255	チラシ印刷 3,105円 コピー代 150円(10円×15枚)
	使用料	¥ 6,380	まつど市民活動サポートセンター 第1会議室 8/23 220円×3時間=660円 9/27 220円×3時間=660円 10/25 220円×3時間=660円 11/22 220円×3時間=660円 12/27 220円×3時間=660円 1/24 220円×3時間=660円 3/14 220円×5時間=1,100円 新松戸市民センター 和室 2/28 440円×3時間=1,320円 まつど市民活動サポートセンター 大会議室 1/17 公用予約により使用のため0円
	対象経費の合計	¥ 27,935	
	その他経費	交通費	¥ 15,000
その他経費の合計		¥ 15,000	
合計額		¥ 42,935	

介護予防リーダーの育成と
介護予防運動の普及事業

松戸リーダーズクラブ

活動状況報告書

1 事業名称 介護予防リーダーの育成と介護予防運動の普及事業

2 実施主体

■団体名： 松戸リーダークラブ

従事者数： 6名

団体概要： 地域の高齢者を中心とした健康づくりの活動をサポートし地域の活性化を図る。①かいごよぼうのちしき・技術の普及。②介護予防運動の提供。③介護予防リーダーの育成。④地域、自治体との連携・情報の提供。

3 事業の実施内容

日 付	作 業 内 容
4月1～4月30日	会議予防青空体操提供・・・コロナ状況のため屋外（公園）にて介護予防体操を実施。 実施地域・・・馬橋地域及び古ヶ崎地域
5月1日～6月末	介護予防体操パンフレット・イエトレ体操配布 コロナ影響下の中、高齢者の健康維持のため自宅でできる体操のパンフレットを作成。（イエトレパンフレット 500部） 第1期介護予防リーダー21名・各地域包括・各地域高齢者にイエトレパンフレット500部配布。
7月初旬	7月・・・馬橋商店会からの依頼により「GO TO キャンペーン」の一環として、馬橋商店会の活性化のためのイベントを企画・提案8月中旬に商店会に実施予定。 介護予防リーダー修了者を中心とした、商店会の活性化及び地域高齢者・家族の健康向上を目的とした内容を企画・提案。
8月	コロナ感染のため馬橋商店会活性化キャンペーン中止。
10月17日	地域高齢者体力測定実施・・・矢切地域の高齢者を対象とした体力測定実施。場所：矢切神社集会所。40名参加
11月28日	オンライン介護予防体操配信・・・馬橋市民センターと松戸市民活動サポートセンターをオンラインでつなげ第1回オンライン介護予防体操開催。参加者：2施設計60名参加
11月21・30日	第2回介護予防リーダー講習会を2日間にて開催。

	介護予防に関する知識・・・2時間4単位 介護予防体操実践・・・2時間4単位 資格取得者16名
2020年1月14日	第1回リーダー塾開催 第1期リーダー資格所得者21名、第2期リーダー取得者を対象に上級研修会を開催。12名参加
1月28日	第2回リーダー講習会開催 第1期リーダー資格所得者21名、第2期リーダー取得者を対象に上級研修会を開催。14名参加

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

新型コロナウイルス感染状況下の中では、介護予防体操普及活動である当事業はそのほとんどの活動はゼロに近く制限された。

その制限の中で、1、屋外での「青空体操実施」 2、自宅で一人でできる「イェトレ体操パンフ作成・普及」 3、オンラインによる「介護予防体操の実施」はコロナ状況下でなければ生まれなかった活動であると考えられる。

そのような観点からすれば、コロナ状況化での当事業は新しい介護予防普及方法が開発され、今後の事業展開にヒントが得られたと考えられる。

(2) 取り組んだ課題の解決について

開催中止の地域活性化を対象とした地域イベント

1) 馬橋商店会からの依頼により「GO TO キャンペーン」の一環として、馬橋商店会の活性化のためのイベント開催。

2) 地域ウォーキングイベント。

3) 介護予防講演会地域開催

地域を限定して開催したイベント

1) 地域体力測定

2) オンライン介護予防体操

5 今後の事業展開

今後も新型コロナウイルスの感染状況が続くと考えられる状況下で、介護予防体操普及活動である

当事業は、今年度コロナ感染状況の中で開催できた内容から学びえた経験から、

- 1、屋外でのイベント等の開催
- 2、自宅で一人でできる介護予防体操の提供
- 3、オンラインによる「介護予防体操の実施」

の3事業を中心に介護予防事業の地域展開を図っていきたい。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	講習会参加・会員登録料	¥ 17,500	¥ 8,000	¥ 9,500	500円/1名×16名
	団体拠出金	¥ 70,000	¥ 21,212	¥ 48,788	事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 2,000	¥ 0	¥ 2,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、寄附見送りとなり未実施
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 89,500	¥ 29,212	¥ 60,288	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 39,000	¥ 61,000	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 189,500	¥ 68,212	¥ 121,288	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	印刷製本費	¥ 49,000	¥ 19,800	¥ 29,200	イエトレパンフレット製作費500部 19800円
	使用料及び賃借料	¥ 23,500	¥ 8,820	¥ 14,680	会場費 馬橋市民センター 第2期リーダー講習会11月 7400円 (11/10 1640円、11/21 2880円、11/28 720円、11/30 2160円) リーダー塾1月 1420円 (1/11 710円、1/28 710円)
	報償費	¥ 12,000	¥ 0	¥ 12,000	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
	消耗品費	¥ 50,000	¥ 9,356	¥ 40,644	名札 (リーダー講習用) 1210円 延長コード (第2期リーダー講習会用) 1271円 資料 (第2期リーダー講習用) 500円 インクジェット (第2期リーダー講習資料作成) 3825円 認定証 (第2期リーダー講習) 1010円 新型コロナウイルス感染症対策 封筒代 (イエトレパンフレット発送用4月) 330円 封筒代 (リーダー塾案内発送用11月) 1210円
	食糧費	¥ 19,000	¥ 0	¥ 19,000	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
	通信運搬費	¥ 0	¥ 5,358	¥ ▲5,358	新型コロナウイルス感染症対策 郵便代 (定形外) (イエトレパンフ4月・5月) 3930円 郵便代 (切手代) (第2期リーダー講習会案内11月) 1428円
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
		対象経費の合計 (D)	¥ 153,500	¥ 43,334	¥ 110,166
(その他) 経費	携帯電話通信費	¥ 36,000	¥ 24,878	¥ 11,122	携帯料24878円
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 36,000	¥ 24,878	¥ 11,122	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 189,500	¥ 68,212	¥ 121,288	

	<p>【チェック項目】</p> <p>1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。</p> <p>2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。</p> <p>3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。</p> <p>4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。</p>
--	--

精算額	¥ 61,000
------------	----------

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	講習会参加・会員登録料	¥ 8,000	500円/1名×16名
	団体拠出金	¥ 21,212	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 29,212	
市	市民活動助成金	¥ 39,000	松戸市市民活動助成金2020年度
	合計額	¥ 68,212	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	印刷製本費	¥ 19,800	イエトレパンフレット製作費500部 19800円
	使用料及び賃借料	¥ 8,820	会場費 馬橋市民センター 第2期リーダー講習会11月 7400円 (11/10 1640円、11/21 2880円、11/28 720円、11/30 2160円) リーダー塾1月 1420円 (1/11 710円、1/28 710円)
	消耗品費	¥ 9,356	名札（リーダー講習用）1210円 延長コード（第2期リーダー講習会用）1271円 資料（第2期リーダー講習用）500円 インクジェット（第2期リーダー講習資料作成）3825円 認定証用紙（第2期リーダー講習）（プリンタ用紙）1010円 新型コロナウイルス感染症対策 封筒代（イエトレパンフレット発送用4月）330円 封筒、テープ、ボールペン（リーダー塾案内発送用11月） 1210円
	通信運搬費	¥ 5,358	新型コロナウイルス感染症対策 郵便代（定形外17通）（イエトレパンフ4月・5月）3930円 郵便代（切手代17通）（第2期リーダー講習会案内11月）1428円
	対象経費の合計	¥ 43,334	
	その他経費	携帯電話通信費	¥ 24,878
その他経費の合計		¥ 24,878	
	合計額	¥ 68,212	

居場所提供と家出女性保護事業

NPO 法人仮り暮らし

活動状況報告書

1 事業名称 居場所提供と家出女性保護事業

2 実施主体

■団体名： NPO 法人仮り暮らし

従事者数： 11名

団体概要： この法人は、広く一般市民を対象として、保護を必要とする子どもの保護、保護した子どもとその家族の心身のケア、および非正規労働者への職の提供を行うことによって子どもの健全な育成と、非正規労働者への安定した労働環境の提供、就業支援を目的とする。

3 事業の実施内容

① 居場所提供事業の実施

【コロナ禍により設備修繕工事が遅れたため、スケジュールを変更】

日付	作業内容
9月1日～3月31日	毎週金土日祝に居場所提供および対面相談を開始
1月8日～3月12日	チラシの企画及び作成
3月29日	チラシ印刷の発注
3月31日	松戸サポセンにチラシ配架の依頼

② 家出女性保護事業の実施

日付	作業内容
4月1日～3月31日	家出女性と SNS やメールで連絡を取り合い、仮り暮らしの家で保護
4月1日～3月31日	保護した女性の家庭復帰支援・自立支援
1月8日～3月12日	チラシの企画及び作成
3月29日	チラシ印刷の発注
3月31日	松戸サポセンにチラシ配架の依頼

③ 資格取得の応援

日付	作業内容
4月1日～3月31日	毎週金土日祝に居場所提供および対面相談を開始
10月25日～3月28日	参考書籍の選定・購入

④ 家庭復帰・自立への支援

日 付	作 業 内 容
4月1日～3月31日	家庭復帰：家族との電話面談、意思疎通の仲介 自立支援：資格取得に向け参考書の選定・購入 病院、障害福祉相談支援センター、保健所、児童相談所 等への同行・情報共有、支援依頼

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

<p>①居場所提供(相談対応の場も兼ねる)については、平均して2名/月の利用者数でした。船橋や鎌ヶ谷、印西から対面相談のために来訪したケースもありました。相談窓口を利用しながらない、あるいはそもそもその発想が無い相談者と一緒に相談窓口を案内・同行することで、「怖い」「冷たい」「行っても無駄」という先入観を払拭することができました。なお、目標として設定した10名/月の利用は、達成できませんでした。</p> <p>②家出女性保護事業については、令和2年度は9名の女性を保護し、うち6名が家庭復帰、3名が賃貸物件や他の施設に移動しました。利用者のうち3名は、他自治体の障害者支援や保健所、児童相談所に繋がりました。目標では1～若干名/月としておりましたが、常に2名の利用があったため、目標は達成しました。</p> <p>③家庭復帰・自立支援については、ご家族と電話面談の形で話し合いを促し、誤解してそうな場面は介入するなどして9人中6名が円満に家庭復帰しました。他3名は、松戸市のCoCo(基幹相談支援センター)に連携しグループホームに入所したり、次の賃貸物件(仮り暮らしスタッフ同行)を見つけたりしました。こちらも、当初設定した目標(年単位で見た場合、1～若干名)を達成いたしました。</p> <p>④相談支援 こちらは、2020年度全体で約100件の相談件数がありましたので、目標とした利用者数(1～若干名/月)を達成できました。</p>
--

(2) 取り組んだ課題の解決について

<p>他市町村にある児童相談所や児童養護施設から入居希望の打診をいただいたり、そもそも公的施設を頼ろうという発想がない子を保健所や児童相談所に繋いだりしました。中にはTwitterで知り合った男性から家出資金を貰うために横浜まで行った子を保護したこともあります。</p> <p>相談窓口に通りに着けないケースについては、居場所提供により対面相談が可能となり、保健所等の相談窓口や支援団体を一緒に探したり、近隣にある場合には同行したりすることができました。</p> <p>これにより、松戸駅が神待ちの場ではなくなったとは言えませんが、松戸駅を出会いの場</p>

として利用する女性の数を減らすことができました。

5 今後の事業展開

家出女性の保護について、長期利用者を同時に預かってしまうと他から問い合わせがあった時に応えられないため、1室は短期利用を希望する子にだけ与えるようにするなどしてより多くの相談者を受け入れられるように配慮します。

居場所提供については、遠方からでも「とりあえず行ってみよう」と思えるよう、備品の増設や、HPに掲載する写真を増やしたり、SNSでの発信を強化するなどしたりして対応していきます。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 60,000	¥ 0	¥ 60,000	事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 840,000	¥ 189,283	¥ 650,717	正会員寄付金
	仮り暮らし利用料	¥ 25,000	¥ 24,000	¥ 1,800	500円 × 34人, 300円 × 22人, 200円 × 2人
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 925,000	¥ 213,283	¥ 711,717	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A + B)	¥ 1,025,000	¥ 313,283	¥ 711,717	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	印刷製本費	¥ 10,000	¥ 7,750	¥ 2,250	チラシ 2,750円(50部), パンフレット 5,000円(100部)
	消耗品費	¥ 85,000	¥ 90,438	¥ ▲5,438	参考書 15,682円(5冊), 一般書籍 74,756円(320冊)
	食糧費	¥ 36,000	¥ 16,530	¥ 19,470	利用者の軽食費用16,530円(お菓子、飲み物)
	通信運搬費	¥ 54,000	¥ 0	¥ 54,000	無線LANの利用無し(コロナにより居場所開放時期が後ろ倒しになり、業者の空きがなくなってしまい、工事ができなかったため)
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計(D)	¥ 185,000	¥ 114,718	¥ 70,282	
(その他経費)	家賃	¥ 600,000	¥ 0	¥ 600,000	施設等受入評価益として計上するため0円。
	光熱水費	¥ 240,000	¥ 198,565	¥ 41,435	居場所 46,470円、シェルター152,095円
				¥ 0	
	その他経費の合計額(E)	¥ 840,000	¥ 198,565	¥ 641,435	
	合計額(F) = (D + E)	¥ 1,025,000	¥ 313,283	¥ 711,717	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	寄附金	¥ 189,283	正会員寄付金
	仮り暮らし利用料	¥ 24,000	高校生以上500円 × 34人, 中学生300円 × 22人, 小学生200円 × 2人
	自己資金の合計額	¥ 213,283	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合計額	¥ 313,283	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	印刷製本費	¥ 7,750	チラシ 2,750円(50部), パンフレット 5,000円(100部)
	消耗品費	¥ 90,438	資格取得用参考書 15,682円(5冊), 居場所一般書籍 74,756円(320冊)
	食糧費	¥ 16,530	居場所提供事業用利用者の軽食費用 16,530円 □お菓子 8,530円, 飲み物 8,000円)
	対象経費の合計	¥ 114,718	
その他経費	家賃	¥ 0	施設等受入評価益として計上するため0円。
	光熱水費	¥ 198,565	居場所 46,470円 シェルター152,095円
	その他経費の合計	¥ 198,565	
	合計額	¥ 313,283	

坂川水系自然環境向上事業

坂川の花桃を愛する会

活動状況報告書

1 事業名称 坂川水系自然環境向上事業

2 実施主体

■団体名：坂川の花桃を愛する会

従事者数：30名

団体概要：坂川河畔の「花桃の木」の維持・育成・管理を行い毎年美しく咲く花桃により、地域住民の生活に潤いを与える坂川の自然環境向上を図るボランティア活動

3 事業の実施内容

①サツマイモ生育事業【コロナ禍によりニホンナマズが仕入れ、放流できなくなり、「ニホンナマズ」の稚魚の放流イベントから事業計画を変更して坂川環境の向上、地域交流の促進として実施】

日付	作業内容
4月1日	事業計画変更検討
4月16日	苗購入
4月17日	肥料購入
4月21日、22日	畝割作業 10名参加
4月23日	苗購入（追加）
4月27日	苗植え
5月11日	苗の補植
5月13日	補水
6月25日	草取り
7月28日	つる返し 参加者：新松戸西小学校の1年生、5年生100名、先生・関係者10名
9月30日	つる返し
10月19日	収穫 参加者：新松戸西小学校の1年生、5年生100名、先生・関係者20名
10月24日	収穫 参加者：ドッジボール、ソフトボールクラブの子ども達 50名、コーチ・関係者30名
10月25日	収穫 参加者：子ども会100名、保護者・関係者50名
10月27日	畑の整備

②坂川における魚類・鳥類の定点観測【コロナ禍により縮小】

- ・水質検査 令和2年 11月1日に実施
(小金中学校科学部、小金高校生物部と横須賀小学校西側の坂川で実施)
- ・定点観測 秋から2週間に1度 差向橋上にて実施(地域のカメラクラブなどの協力のもと実施)

③「花桃」補植事業【コロナ禍により事業計画を変更して坂川環境向上の1つとして実施】

日付	作業内容
6月20日	事業計画変更決定
7月1日	実施内容検討
8月27日	関係者との検討会
9月12日	役員会実施日程検討
1月15日	花桃苗見積依頼
2月22日	花桃苗納入
3月27日	花桃補植(参加者35名、ボランティア20名、会員15名)
3月30日	花桃補植(参加者30名、ボランティア15名、会員15名)
3月31日	花桃補植(参加者30名、ボランティア15名、会員15名)

④坂川の清掃活動

花桃補植活動の一環として、枝払い、ゴミの清掃、カーブミラー確認、看板清掃など実施
ボランティア30名・学童の子ども30名の合計60名で実施しました。

日付	作業内容
3月27日	坂川の清掃 ボランティア 15名、子ども 30名
3月30日	坂川の清掃 ボランティア 15名、子ども 10名
3月31日	坂川の清掃 ボランティア 15名、子ども 15名

4 事業成果について

(1)事業目的及び目標の達成について

<p>1 今回の事業目的である、</p> <ul style="list-style-type: none"> *子ども達との多世代交流 *地域住民とのコミュニケーション *環境意識の向上 <p>については、事業活動を通して、親子で参加した方からは、「地域でかかわる大切さを知った」と感想をいただいたり、子どもは、土の中からカエルが飛び出たり土に親しむことで感動を覚えた子ども達が沢山いました。農作物の出来方を体感したり、清掃活動では、考</p>
--

えてもいなかったようなゴミが沢山坂川に捨てられていることを知ったり、認識したりしている様子が見られ、十分に成果があったと確信します。

2 地域住民・子ども達に自然環境に関するアンケートの実施については、コロナ禍により実施できなかったため、目標は達成できませんでした。

3 放流イベントの参加者300名以上の目標は、コロナの影響で放流イベントを中止したため、達成できませんでした。しかし、計画を変更して、サツマイモ生育事業では新松戸西小学校の1年生と5年生100名とドッジボールなどクラブ活動をしている子ども達50名と子ども会の子も達100名の計250名が参加し、さらにその保護者・先生を加えて合計350名が参加し目標は達成できました。

花桃の植樹では60名が植樹ボランティアとして参加してもらい、合計410名の参加となったため、目標は達成できました。

3 小金中学校科学部、小金高校生物部と坂川の環境問題について一緒に調査研究していくことについては、コロナ禍により、予定の50%と一緒に活動しました。目標は少しですが達成できました。

4 坂川における定点観測については、コロナの影響で春、夏は観測できなかったが、秋から観測することができた。また、5か所で定点観測予定であったが、1か所のみ観測となってしまったため、目標はあまり達成できませんでした。

(2) 取り組んだ課題の解決について

課題として坂川水系に生物が生息できるくらいの環境を向上するため、地域の力で手助けできるつながりづくりに取り組みました。事業を通じて、地域の子供たちと大人がかかわることができ、コロナ対策を考え、少人数に分け、回数を増やして対応しましたが、課題の90%を達成できました。

学校（小・中・高）との合同活動はクラブ活動中止の影響を受け、50%しかできず残念でした。

5 今後の事業展開

自然環境向上事業は長期的活動になります。

また、活動テーマは河川の水質・魚・水鳥・貝・土手の草花・樹木など広範囲に渡るため、有識者を含めた関係者との協力や支援を今後も検討し、

事業目的の

*多世代交流

*地域住民とのコミュニケーション

*環境意識の向上

を推進してまいります。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	花桃の会団体拠出金	¥ 0	¥ 15,120	¥ ▲15,120	事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄附金	¥ 200,000	¥ 0	¥ 200,000	会員・援助団体からの寄附
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 200,000	¥ 15,120	¥ 184,880	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 300,000	¥ 115,120	¥ 184,880	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 90,000	¥ 51,771	¥ 38,229	花桃苗木 770円×60本 46200円、花桃補植時肥料 5,571円
	消耗品費	¥ 0	¥ 22,702	¥ ▲22,702	サツマイモ苗990円×14束(700本)=13,860円 サツマイモ用肥料等 8,842円
	消耗品費	¥ 0	¥ 17,480	¥ ▲17,480	コロナ対策 ボランティア参加者用マスク
	委託料	¥ 7,000	¥ 10,000	¥ ▲3,000	花桃苗木運搬委託トラック代
	印刷製本費	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	イベント時期がずれ込んだため作成せず
	食糧費	¥ 0	¥ 11,090	¥ ▲11,090	清掃活動参加の子ども達のドリンク2,765円、お菓子5,869円 ボランティア参加者お茶 2,456円
	食糧費	¥ 0	¥ 2,077	¥ ▲2,077	サツマイモ植付時・収穫時お茶代
	使用料及び賃借料	¥ 102,200	¥ 0	¥ 102,200	水槽・揚水ポンプ、カラーコーンなどは計画変更により使用せず
	報償費	¥ 60,000	¥ 0	¥ 60,000	外部講演料は計画変更により使用せず
		対象経費の合計(D)	¥ 269,200	¥ 115,120	¥ 154,080
その他経費(対象外)	食糧費	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	花桃補植時の内部ボランティアの弁当、お茶はイベント時期のずれ込みと規模縮小により支給せず
	振込手数料	¥ 800	¥ 0	¥ 800	計画変更により使用せず
				¥ 0	
	その他経費の合計額(E)	¥ 30,800	¥ 0	¥ 30,800	
	合計額(F) = (D+E)	¥ 300,000	¥ 115,120	¥ 184,880	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	花桃の会団体拠出金	¥ 15,120	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 15,120	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合 計 額	¥ 115,120	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 51,771	花桃の苗 46,200円、肥料 5,571円
	消耗品費	¥ 22,702	サツマイモの苗 13,860円、肥料 4,377円、ビニール留め代 1,262円、除草剤 3,203円
	消耗品費	¥ 17,480	コロナ対策 ボランティア参加者用マスク（7枚入り普通サイズ437円×24点、大サイズ437円×16点）
	委託料	¥ 10,000	花桃苗木運搬委託代
	食糧費	¥ 11,090	清掃活動に参加した子ども達のドリンク 2,765円、お菓子5,869円、ボランティア参加者用お茶 2,456円
	食糧費	¥ 2,077	サツマイモ植付時・収穫時参加者用お茶代
		対象経費の合計	¥ 115,120
その他経費			
	その他経費の合計	¥ 0	
	合 計 額	¥ 115,120	

音楽活動による街の活性化事業

松戸音楽活動同好会

活動状況報告書

- 1 事業名称 音楽活動による街の活性化事業
- 2 実施主体 松戸音楽活動同好会
- 団体名： 松戸音楽活動同好会
- 従事者数： 18名
- 団体概要： 福祉施設訪問音楽会や音楽イベント（サポセン音楽祭・松音ハッピーコンサート・松音サロン・ニコニコ交流音楽会・公開講座）等を企画運営し、元気と活力を届ける活動をする団体である。音楽を通じて明るく楽しい元気な街作りを行い、音楽による生き甲斐・健康作りに寄与する等その目的達成の為、講師を招き定期練習を年間48回行うなど必要なパフォーマンスを養成する。

3 事業の実施内容

1-1・企画運営主催地域活動事業 松音ハッピーコンサート・ニコニコ交流音楽会 等

日 付	作 業 内 容
4月1日～5月27日	第5回松音ハッピーコンサート 開催準備 開始 定期練習はコロナ禍により中止
5月28日	第1回定期練習開始 矢切公民館 総会開催 中止 第5回松音ハッピーコンサート中止決定
6月2日	第1回定期練習 松戸音楽活動同好会活動開始
6月7日	第5回松音ハッピーコンサート中止現地対応 第6回松音ハッピーコンサート開催準備開始
6月6日	第2回定期練習 (以後特記なき会場はすべて矢切公民館ホール)
6月12日	第3回定期練習 第6回ハッピーコンサート開催準備開始
6月21日	第4回定期練習
6月26日	第5回定期練習 歌集印刷
7月 1日	第6回定期練習 歌集印刷
7月10日	第7回定期練習 第4回サポセン音楽祭 中止 決定
7月15日	第6回松音ハッピーコンサート中止決定 総会開催
7月24日	第4回サポセン音楽祭 中止対応 現地にて
8月 7日	第8回定期練習 第7回ハッピーコンサート開催準備開始、 川端先生・吉田先生 出演予定
8月12日	第9回定期練習
8月15日	川端先生と第7回ハッピーコンサート練習予定及び演目打ち合わせ

8月19日	第10回定期練習
8月29日	第11回定期練習
9月1日	第12回定期練習 歌集印刷
9月5日	特別活動 市民劇場確保 ニコニコ交流音楽会開催準備開始 講師及び出演予定：吉田秀子先生
9月6日	特別活動 地域活動講習会 参加
9月9日	第13回定期練習
9月11日	第14回定期練習 講師：吉田先生
9月13日	第6回ハッピーコンサート中止現地対応
9月18日	第15回定期練習 講師：吉田先生
9月26日	第16回定期練習 講師：吉田先生
9月30日	第17回定期練習
10月9日	第18回定期練習 講師：吉田先生
10月16日	第19回定期練習 松戸市民会館音楽室 川端先生指導 第7回ハッピーコンサートリハーサル
10月24日	第20回定期練習 講師：吉田先生
10月29日	第21回定期練習
11月3日	第22回定期練習 第7回ハッピーコンサートリハーサル 講師：吉田先生
11月17日	第23回定期練習
11月21日	第24回定期練習 講師：吉田先生
11月28日	第25回定期練習 講師：吉田先生
12月3日	第26回定期練習 講師：吉田先生
12月4日	第27回定期練習
12月10日	第28回定期練習
12月11日	第7回ハッピーコンサートリハ3回目 リハーサル 女性センター 川端先生指導
12月21日	第29回定期練習 音楽会開催（矢切公民館にて福祉施設閲覧の為） 動画録画 後 DVD作成
12月23日	第30回定期練習
1月8日	第31回定期練習 第7回ハッピーコンサートリハーサル 講師：吉田先生
1月18日～2月11日	コロナ禍により 活動自粛 第7回ハッピーコンサート中止決定
2月12日	第32回定期練習 森のホール音楽室 ニコニコ交流音楽会 リハーサル 吉田先生指導

2月21日	第7回ハッピーコンサート中止現地対応
2月25日	第33回定期練習 森のホール 動画録画 歌声コーラス ニコニコ交流音楽会リハーサル 吉田先生指導
3月4日	第34回定期練習 森のホール ニコニコ交流音楽会 リハーサル 吉田先生指導
3月7日	ニコニコ音楽会 立ち位置 演出 リハーサル 吉田先生指導
3月9日	松戸市より緊急事態宣言期間延長に伴いニコニコ交流音楽会 中止要請あり緊急役員会議開催し中止決定
3月12日	第35回定期練習 第7回ハッピーコンサート歌声タイム動画撮り 吉田先生指導
3月14日	ニコニコ交流音楽会開催中止現地対応 松戸市民劇場
3月19日	第36回定期練習 みらいフェスタリハーサル 第7回ハッピーコンサート歌声タイム動画撮り 吉田先生指導
3月26日	第37回定期練習 みらいフェスタリハーサル

1-2・参加事業活動

	作業内容
7月6日	「サロンわたし」歌声伴奏 会場総合福祉会館内
9月7日	「サロンわたし」歌声伴奏 会場総合福祉会館内
9月24日	展示パネル製作 新松戸市民センター
10月5日	「サロンわたし」歌声伴奏 会場総合福祉会館内
11月2日	「サロンわたし」歌声伴奏 会場総合福祉会館内
12月7日	「サロンわたし」歌声伴奏 会場総合福祉会館内
1月4日	「サロンわたし」歌声伴奏 会場総合福祉会館内
3月27日	みらいフェスタ出演 会場松戸中央公園

他の参加型活動は 年度内 全て 中止

矢切産直祭り・中金杉混声合唱団・矢切音楽祭・他

※【事業計画イベント中止】→理由は全てコロナウイルス感染拡大予防の為

ボランティア計画については活動依頼が無かったため

第5回 松音ハッピーコンサート

第4回 公開講座

第6回 松音ハッピーコンサート

第4回 松音サロン

第4回 サポセン音楽祭

第5回 松音サロン

第7回 松音ハッピーコンサート

令和2年度 ボランティア計画 全て中止

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

コロナ禍により緊急事態宣言下において音楽に伴うイベント開催は不可能となり、計画時に設定した成果目標の達成率は0パーセントであった。

緊急事態宣言が解除になりコロナ感染状況が減少すると予測されたため、3月14日にニコニコ交流音楽祭を計画し、全力で準備に取り組んでいたが緊急事態宣言が延長され開催直前で中止となり多くの計画イベントが中止になってしまったが その為の練習は 感染予防規律を厳守しつつ当初予定に近い35回重ねてきておりその成果は来年度につながると思っている。

(2) 取り組んだ課題の解決について

コロナ禍により緊急事態宣言下において、音楽を伴うイベント開催は不可能となり事業課題について、殆ど解決できなかった。しかし、新たにオンラインで情報交換や講習会など勉強する機会を与えてもらいリモートでイベント計画を実施する等新しい手法を手に入れた事が出来たので来年に繋げていきたい。

5 今後の事業展開

解決できなかった課題にどう対応していくかは、まず新型コロナ禍が一日も早く終息する事が第一でありいつもの生活に戻れば練習は重ねて行っているため、特に福祉施設訪問音楽活動についてはいつでも伺えるように準備は出来ているので即解決できると思う。

今後の事業展開として松戸音楽活動同好会活動が長く続けられかつますます発展するようにするためにコロナ禍において音楽活動の形式に大きな変化があり直に多くの人と接しない方策を立てていくとともにリモート等でより多くの人達に接する事が出来るように効率的なPRの方法を学び実践していきたい。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 89,000	¥ 36,302	¥ 52,698	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	施設より謝礼金	¥ 18,000	¥ 0	¥ 18,000	コロナにより実施できなかったため
	サボセン音楽祭参加費	¥ 9,000	¥ 0	¥ 9,000	コロナにより実施できなかったため
	自己資金の合計額 (A)	¥ 116,000	¥ 36,302	¥ 79,698	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 216,000	¥ 136,302	¥ 79,698	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報酬費	¥ 40,000	¥ 25,000	¥ 15,000	外部講師謝礼 10,000円x1回、10,000円x1回 5,000円x1回
	消耗品費	¥ 20,000	¥ 11,970	¥ 8,030	キーボード音響機器 消耗品費 ダンバー2,750円 アダプター3,240円 バッテリーパック5,980円
	消耗品費	¥ 10,000	¥ 2,633	¥ 7,367	歌詞模造紙作成費 模造紙1,767円 絵具866円
	消耗品費	¥ 37,000	¥ 43,242	¥ ▲6,242	事務用品 コロナ関連対策費 コピー用紙、インク等事務用品 25,618円、コロナ対策関連費 17,624円
	食糧費	¥ 12,000	¥ 0	¥ 12,000	講師昼食代・水代を計上したが、イベント中止により未使用
	印刷製本費	¥ 20,000	¥ 7,510	¥ 12,490	ポスターチラシの印刷代 (周知用) 松音ハッピーコンサート2,930円 ニコニコ交流音楽会4,580円
	印刷製本費	¥ 10,000	¥ 9,175	¥ 825	配布物の印刷・コピー代 まつど市民活動サポートセン ター・矢切社協 9,175円
	通信運搬費	¥ 3,000	¥ 0	¥ 3,000	通信費(周知用切手代)計上したが、イベントの中止(周知 用)を電話連絡にしたため、切手代金などの通信費未使用
	使用料及び賃借料	¥ 8,000	¥ 16,412	¥ ▲8,412	会場使用料 まつど市民活動サポートセン ター、市民センター、市民会館、 女性センターゆうまつど、松戸市 文化会館(森のホール21)
	対象経費の合計(D)		¥ 160,000	¥ 115,942	¥ 44,058
(その他)経費	食糧費	¥ 9,900	¥ 9,660	¥ 240	会員の会合昼食代 690円×14名
	コンサート出演料	¥ 4,000	¥ 1,000	¥ 3,000	みらいフェスタ出演料 1000円
	保険料	¥ 2,100	¥ 0	¥ 2,100	ボランティア保険料 使用せず
	交通費	¥ 40,000	¥ 9,700	¥ 30,300	駐車場代 500円×18回、700円×1回
	その他経費の合計額(E)	¥ 56,000	¥ 20,360	¥ 35,640	
合計額(F) = (D+E)		¥ 216,000	¥ 136,302	¥ 79,698	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	団体拠出金	¥ 36,302	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 36,302	
市	市民活動助成金	¥100,000	
	合 計 額	¥136,302	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 25,000	講師謝礼(講師)： 吉田秀子氏15,000円(5,000円×1回：11月3日・1月8日分、10,000円×1回：2月12日・2月25日・3月4日・3月7日分) 川端夢衣氏 10,000円(10,000円×1回：10月16日・12月11日分)
	消耗品費	¥ 11,970	音響機器 電子ピアノダンパー2,750円、電子ピアノアダプター3,240円、バッテリーパック5,980円
	消耗品費	¥ 2,633	模造紙 1,767円、 絵具 866円
	消耗品費	¥ 43,242	事務用品(25,618円)： インク代20,284円(3,012円+1,859円+1,078円+3,680円+748円+1,859円+4,130円+2,070円+1,848円)、コピー用紙代2,464円(355円+1,782円+327円)、OPP袋1,050円、ファイル550円、資料とじ440円、鉛筆・封筒280円、カードケース550円 コロナ対策関連費(17,624円)： 消毒液2,359円、シート代7,040円(2,200円+4,840円)、非接触体温計2,867円、フェイスシールド2,520円、白木仕上材等1,738円、花粉眼鏡(フェイスガード用)1,100円
	印刷製本費	¥ 7,510	広報チラシの印刷代：東京カラー印刷 松音ハッピーコンサート 2,930円(第7回1,831円×1,600枚)、ニコニコ交流音楽会4,580円(2.29円×2,000枚)
	印刷製本費	¥ 9,175	印刷・コピー代：まつど市民活動サポートセンター6,455円、矢切地区社会福祉協議会2,720円
	使用料及び賃借料	¥ 16,412	会議室等会場使用料：まつど市民活動サポートセンター1,320円(第一会議室：440円×1回+220円×1回、第二会議室：660円×1回)、女性センターゆうまつど 994円(ホール：770円×1回、多目的室2：224円×1回)、常盤平市民センター378円(第三会議室：378円×1回)、小金北市民センター 322円(第二会議室：(308円+14円)×1回)、松戸市民会館 2,156円(音楽室：1,155円×1回+1,001円×1回)、松戸市文化会館(森のホール21)11,242円【音楽練習室1(1,463円+924円)×2回+(1,463円+154円×1回)、リハーサル室1(3,927円+924円)×1回】
	対象経費の合計	¥115,942	
その他経費	食糧費	¥ 9,660	会員の事業対応会合昼食費 690円×14名
	コンサート出演料	¥ 1,000	みらいフェスタ出演料 1000円
	交通費	¥ 9,700	駐車場代 1回 500円×18回、 700円×1回
	その他経費の合計	¥ 20,360	
	合 計 額	¥136,302	

冒険山開放に伴う見守り事業

冒険山開放委員会

活動状況報告書

1 事業名称 冒険山開放に伴う見守り事業

2 実施主体

■団体名： 冒険山開放委員会

従事者数： 20名

団体概要： 「子どもたちの健やかな成長を願って」をテーマに、小金北小学校に設置されている遊具施設を開放し、子どもたちが自分自身で感じられる自立心と、挑戦力に寄与すること。また地域を越えた子どもたちが遊びを通じて集うことにより、視野を広げ、相互の存在を認めあえる場の提供を目的とします。

3 事業の実施内容

① 冒険山開放日の参加者の見守りと各種体験広場の開催

日付	作業内容
7月19日	冒険山下段草刈 参加者10名
8月1日	小金地域づくり交流会に参加 仲村、綿引、石崎
8月8日	冒険山上段草刈 参加者9名
9月13日	開放日 子ども4名 コロナ後初開放日 倉庫の設置
9月29日	市役所通路パネル展示 市民サポートセンターにて打ち合わせ
10月4日	開放日 子ども13名 見守り7名
10月10日	焼き芋の集いの打ち合わせ
10月11日	雨天開放中止 15時から打ち合わせ
11月1日	開放日 子ども8名 見守り7名
11月8日	開放日 子ども12名 見守り5名
11月15日	松戸市プレゼン参加発表 広澤、橘、石崎
11月21日	焼き芋の集い準備 芋洗い、焼き芋機でのテスト製造
11月22日	焼き芋の集い 子どもの参加102名
12月6日	開放日 子ども11名 根木内小、光が丘小、江戸川台小から参加
1月9日	凧揚げ大会検討会 中止の決定 参加者12名

1月10日 東洋学園大学の入り口に中止の告知ポスター

2月7日から3月21日まで緊急事態宣言により学校開放中止

② 焼き芋大会

焼き芋の集いは11月21日に実施。参加した子どもは102名になりました。コロナ禍の中での開催で、感染拡大の防止には最善の対策をして備えました。次につながる企画になったと思います。

③ 講演会の開催

子育てに忙しい世代のお父さん、お母さん向けの講演会を予定しておりましたが、コロナ禍の為開催を延期しました。子どもを取り巻く問題は大人の問題でもあります。

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

コロナ禍の影響をまともに受けて3つのイベント企画の内、ソーメン流し及び凧揚げ大会が中止となった。(凧揚げ大会の申し込み者数は45名)

焼き芋の集いは参加した子どもが予定を大幅に超えて102名の参加があった。スタッフも32名集まりほぼ予定通り実行できた。公園内の飲食禁止、マスク着用も徹底して守らせることができた。高学年の子供には火起こしを体験させることができた。

・見守り隊員の増強(目標25名)は多少の出入りがありましたが現状は18名です。達成できておりませんので今後の継続目標とします。

(2) 取り組んだ課題の解決について

開放日の子供の参加は予想を超えて少なかった。やはりコロナ禍の影響が相当あったのではと思う。親のコロナ問題の受け止め方によって、子どもの活動は大きく影響されると思う。

子育て世代の親に対する講演会の企画は実施できなかった。

子どもの問題は子育て世代の親の問題でもあるので、広い視野で子どもの健やかな成長を見守りたい。

5 今後の事業展開

我々の活動のベースは開放日の見守りであるが、子どもたちの参加が頼りである。

イベント実施の折には普段の活動内容と、開放委員会の取り組みについての告知チラシをこれからも積極的に配布する。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体助成金	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	小金地区連合会よりの補助金
	関係団体寄付金	¥ 20,000	¥ 50,000	¥ ▲30,000	会員・近隣町会からの寄付金
	団体拠出金		¥ 20,943	¥ ▲20,943	会からの拠出金
	自己資金の合計額 (A)	¥ 50,000	¥ 70,943	¥ ▲20,943	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 150,000	¥ 170,943	¥ ▲20,943	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 100,000	¥ 89,754	¥ 10,246	凧あげ大会 6,930 焼き芋大会 18,075 ユニフォーム @508×30 @1372×20 計 42,680 その他 22,069
	使用料及び賃借料	¥ 10,000	¥ 25,940	¥ ▲15,940	打合せ会場使用料 7回分 9,440 焼き芋機レンタル料 16,500
	保険料	¥ 5,000	¥ 8,680	¥ ▲3,680	行事保険@560×7 @2,800×1 @1,960×1
	対象経費の合計(D)	¥ 115,000	¥ 124,374	¥ ▲9,374	
	(その他)経費	食糧費	¥ 5,000	¥ 21,252	¥ ▲16,252
報償費		¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	
交通費		¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	
消耗品費			¥ 7,947		体温計他
印刷製本費			¥ 8,260		コピー代 パウチ代
委託料			¥ 4,000		ポスターデザイン料
通信運搬費			¥ 4,680		さつまいも送料
代引き手数料			¥ 430		さつまいも
	その他経費の合計額 (E)	¥ 35,000	¥ 46,569	¥ ▲11,569	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 150,000	¥ 170,943	¥ ▲20,943	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
-----	-----

収支内訳書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	金 額	
団 体	団体助成金	¥ 0	小金地区連合会よりの補助金
	関係団体寄付金	¥ 50,000	会員・近隣町会からの寄付金
	団体拠出金	¥ 20,943	会からの拠出金
	自己資金の合計額	¥ 70,943	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合 計 額	¥ 170,943	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 89,754	凧あげ大会 6,930 (凧代@110×61 糸@110×2) 焼き芋大会 18,075 (芋代12,120 ガス代3,000 画鋸1,234 木炭858 ガソリン372 アルミホイール491) ユニフォーム @508×30 @1372×20 計 42,680 その他 22,069 (倉庫鍵取付・スペアキー12,438 インク代・コピー用紙代6,058 スキンガード1,677 竹馬部材1,896)
	使用料及び賃借料	¥ 25,940	打合せ会場使用料 中金杉青年館6回9,000 サポートセンター1回440 焼芋機レンタル16,500
	保険料	¥ 8,680	行事保険 見守り@560×7 焼き芋@2,800×1 凧あげ@1,960×1
	対象経費の合計	¥ 124,374	
その他経費	食糧費	¥ 21,252	昼食代2回 見守り飲み物代2回
	消耗品費	¥ 7,947	体温計4,988 名刺用紙815 協力者への菓子折2,144
	印刷製本費	¥ 8,260	コピー代 パウチ代
	委託料	¥ 4,000	ポスターデザイン料
	通信運搬費	¥ 4,680	さつまいも送料
	代引き手数料	¥ 430	さつまいも
	その他経費の合計	¥ 46,569	
	合 計 額	¥ 170,943	

イベント型＋交流型の居場所「悠々」の提供事業

NPO 法人さわやか福祉の会・

松戸くらしの助っ人

活動状況報告書

1 事業名称 イベント型+交流型の居場所「悠々」の提供事業

2 実施主体

■団体名： NPO法人 さわやか福祉の会・松戸くらしの助っ人

従事者数： 14名

団体概要：

下記①～③の福祉サービス活動を25年近く続け、2019年度の実績（総活動時間＝2034h間の内訳割合は下記①～③）は、

- ① 家事援助等の在宅福祉サービス活動：54%
- ② 病院等の介助移動・院内介助サービス活動：40%
- ③ 産前産後の家事援助・子育て支援活動：6%
- ④ 新規事業として、2014/10～イベント型「悠々」居場所作りを2019年度の実績としては年間146回開催、参加人数746名。
- ⑤ 活動資金調達のため、年二回フリーマーケットの参加、毎週月曜日ガレージセールの実施等を行っています。ただし、昨年のフリマは未実施。

3 事業の実施内容

日付	① イベント型居場所「悠々」 作業内容
2020年4、5月	コロナ感染拡大の緊急事態宣言が発令され、「悠々」は休止とした。
6月	昨年度に引き続き、イベント型悠々を再開した。 イベントの種類＝5種類（吹き矢、健康体操、スマホ、気軽にお抹茶を、歌声ライブ）、悠々開催回数＝12回、 参加者延べ人数＝46名
7月	イベントの種類＝8種類（6月分+パソコン、楽しい書、脳活性ヨガ）、悠々開催回数＝17回、参加者延べ人数＝64名
8月	イベントの種類＝3種類（歌声ライブ、スマホ、パソコン）、悠々開催回数＝5回、参加者延べ人数＝9名
9月	イベントの種類＝8種類（7月分と同じ）、悠々開催回数＝18回、 参加者延べ人数＝66名
10月	イベントの種類＝9種類（9月分+大人のぬり絵）、悠々開催回数＝17回、参加者延べ人数＝84名
11月	イベントの種類＝8種類（9月分と同じ）、悠々開催回数＝16回、参加者延べ人数＝88名

1 2 月	イベントの種類＝9種類（10月分と同じ）、悠々開催回数＝14回、参加者延べ人数＝76名
2021年1月	<p>前はコロナ感染拡大の緊急事態宣言が発令され、「悠々」は休止としたが、今回は各イベント講師の意向に沿って、開催可否を決めた。</p> <p>イベントの種類＝3種類（スマホ、パソコン、楽しい書）、悠々開催回数＝3回、参加者延べ人数＝10名</p>
2月	イベントの種類＝1種類（パソコン）、悠々開催回数＝1回、参加者延べ人数＝3名
日 付	② 交流型居場所「悠々」 作 業 内 容
2020年4、5月	新たに、交流型悠々として「おしゃべり広場」のチラシを作成し、会報及びフェイスブック、ホームページなどでの宣伝を開始した。しかし、コロナ感染拡大の緊急事態宣言が発令され、交流型もイベント型も休止とした。
6月	2020年度は、コロナ禍のために、昨年度に比べて、イベント型悠々も参加者が上述のごとく少なく、また、隣の市民センターに来られる人達を集客していた、ほぼ毎週月曜日に開催するガレージセールと同時間帯に開催する予定の交流型悠々「おしゃべり広場」も、市民センターに来られる方々が激減し、同時にガレージセールに立ち寄るお客も少なくなり、その影響で、「おしゃべり広場」への参加者誘い込みをできなくなった。
6月～2021年2月	交流型居場所悠々としての「おしゃべり広場」の開催回数＝2回（ガレージセール開催日に毎回開催していたが、ほとんど参加者はいなかった）、その参加者総数＝4名

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

<p>○目的：従来の『悠々』では何かイベントを提供しながら居場所提供をしていましたが、本事業では異年齢交流の交流型の居場所として、【いつでも立ち寄れていつでも帰れる】【誰もが利用できる】【時間を自由に過ごせる】【経験や能力を生かせる】【自分の存在を認識できる】など、人と人のつながりが生まれ、助け合う関係になれる居場所も提供する。</p> <p>○設定目標：本提案事業のイベント型＋交流型の『悠々』の成果目標は、 年間開催回数＝150回／イベント型、120回／交流型 延べ参加者数＝500名／イベント型、360名／交流型</p> <p>●目標達成状況： 上記設定（2019/9）であったが、2020年度のコロナ感染拡大に伴う2度の緊急事態宣言</p>

の影響で、下記のごとく、残念ながらどちらも目標達成できなかった。

年間開催回数＝94回／イベント型、2回／交流型

延べ参加者数＝446名／イベント型、4名／交流型

(2) 取り組んだ課題の解決について

本事業の提案理由：本事業の背景には、従来のイベント型居場所『悠々』の課題（順不同）は、

- ✓ イベント講師を平日23日間／月、毎回探すのが難しい。
 - ✓ イベント型の良さもあるが、誰もが自由に過ごし自分の経験を生かした居場所になり難い。
 - ✓ 異年齢交流の場となり難い。
 - ✓ 現状の悠々では必ず助っ人会員スタッフが同席しており、スタッフの負担が大きい。
- これら課題を解決するために、「イベント型」＋「交流型」の居場所『悠々』の提供を事業内容とする。

● 上記が提案理由（課題解決）であったが、

- ・「イベント型」はコロナ感染拡大の影響がありながら、目標値は達成できていないが、意外と参加者が多く、コロナ禍でありながら頑張ったと思われる。
- ・一方、当初の狙いである「交流型」悠々は全く、参加者を集めることができなかった。コロナの影響もあったが、年4回の会報に、事務所玄関先のチラシ、当 NPO 法人のホームページ、フェイスブックなどにも広報活動を行ったが、参加者を全く集めることができなかった。
- ・気軽に立ち寄りやすく、参加しやすいように、毎週月曜日 10:00～14:00 事務所前で行っている「ガレージセール」と同時開催で、イベントなしの「交流型」居場所として、「おしゃべり広場」を提案したが、集客できなかった。
- ・イベントなしで集客することの難しさを感じているが、この度のコロナ禍が起きなければ、色んな集客アクションを取ることはできた。

5 今後の事業展開

イベント型悠々は、2014/10～開催し、実績もでき、地域の皆さんに知れ渡り、口コミで参加者が増えている状況であるが、一方、2020/4～「おしゃべり広場」は地域に全く認知されておらず、今後、この「おしゃべり広場」居場所を広げる手段としては、

- ✓ コロナ感染が収束した後のアクションとして、独居老人（当法人の利用会員）などを対象に車送迎して、参加して頂き、少しでも気晴らしをしてもらう。
- ✓ 少しづつ参加者が増えてくると、次ステップでは「口コミ」でおしゃべり広場を広める。など

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 39,058	事業費の一部を団体の会計より拠出
	悠々参加費	¥ 133,800	イベント型悠々の延べ参加人数=446名。参加費=446名×300円/名
	自己資金の合計額	¥ 172,858	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合計額	¥ 272,858	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 86,000	開催講座数=8講座、延べ開催回数=86回、講師代=(1000×86)86,000円 スポーツ吹き矢 9回 気軽にお抹茶 6回 健康体操 22回 脳活性ヨガ 11回 楽しい書 6回 パソコン教室 10回 歌声ライブ 11回 スマホ勉強会 11回
	通信運搬費	¥ 37,486	切手、会報発送の発送 5/8ドライバンク 悠々おしゃべり広場告知送付 212件 17,266円 2/2ドライバンク 暮らしの助っ人 助成事業周知パンフレット送付 212件 10,224円 郵送分 さわやか助っ人(会報)悠々おしゃべり広場告知送付 9,996円 (212件発送のうち119枚分購入)
	印刷製本費	¥ 580	チラシ印刷費 580円
	消耗品費	¥ 27,832	コピー用紙12,709円 (298円×13個=3,874円、712円×1個、598円×2個=1,196円、698円×4個=2,792円、 298円×10個=2,980円+税1,155円) プリンターインク1,864円 (497円×2個=994円、540円×1個、110円×1個、220円×1個) 水性ペン 1,548円 (11本×128円+税140) 粘着テープ 7点 1,373円 文具(ファイル、領収書、マジック等) 3,080円 ボールペン・修正テープなど文房具36点計 7,258円
	食糧費	¥ 9,780	悠々の茶菓子代 麦茶2L×2ケース(6入)1,144円、お菓子15点 2,738円、緑茶4点 1,589円、 インスタントコーヒー5点 4,309円
	対象経費の合計	¥ 161,678	
その他 経費	会場使用料	¥ 103,200	部屋代として、(600円/h×2h/回)×[86回/イベント型]
	雑費	¥ 7,980	当初計上していなかった雑費として、赤外線体温計
	その他経費の合計	¥ 111,180	
	合計額	¥ 272,858	

働くおとなのホッとできる
居場所づくり事業

まちなす・Labo

活動状況報告書

- 1 事業名称 働くおとなのホッとできる居場所づくり事業
- 2 実施主体
- 団体名： まちなす・Labo
- 従事者数： 3名
- 団体概要： 健康・未病・セルフケアをテーマに活動している。学校にある「保健室」のような機能を持ち、癒しと安心が得られる居場所づくりを心掛けている看護師を中心とした団体。

3 事業の実施内容

①出張型「働くおとなの保健室」の実施【事業計画を新型コロナウイルス感染拡大防止対策により計画およびスケジュールを変更。相談および交流をオンラインで実施。健康情報チラシの発行は中止】

日付	作業内容
4月6日～17日	事業企画打ち合わせ・内容変更の検討
4月18日～6月10日	事業計画書再プランの作成および調整
4月30日～5月28日	夜の保健室「おうちde交流会」実施
5月4日～3月31日	週1回オンライン相談室実施（計4名利用）
7月6日～17日	変更後の事業計画打合せ
8月3日～9月26日	チラシの企画及び作成チラシの印刷（10～12月分）
9月11日	市の広報掲載依頼（11月15日号）
10月2日～11月20日	チラシのPR活動（10～12月分）
10月29日	市の広報掲載依頼（12月15日号）
10月30日	保健室開催①
11月27日	保健室開催②
11月29日～12月22日	チラシの企画及び作成チラシの印刷（1.2月分）
12月18日	地域新聞にてPR活動（12月18日号）
12月25日	保健室開催③
12月26日	市の広報掲載依頼（2月15日号）
12月28日～	チラシのPR活動（1.2月分）

1月8日～12日	事業企画打合せ（1.2月分）
1月13日～29日	チラシの作成及び掲示（1月29日中止のため差し替え）
2月2日～2月5日	事業企画打合せ（3月分）
2月6日～3月12日	チラシの作成及び掲示（2月19日中止と3月12日追加開催のため差し替え）
3月12日	保健室開催④

②健康に関するイベントの実施 **【事業計画よりスケジュールを変更】**

日 付	作 業 内 容
4月6日～17日	事業企画打ち合わせ・内容変更の検討
7月15日～12月10日	12月イベント企画打ち合わせ・準備
10月10日～11月3日	チラシの企画及び作成
10月29日	市の広報掲載依頼（12月15日号）
11月4日～12月11日	チラシの印刷及び掲示・PR活動
12月5日～12月8日	1.2月イベント企画打ち合わせ
12月11日	イベントの開催 松戸スタートアップオフィス ピアニスト：内田瑞穂氏 参加者：リアル 5名、オンライン 8名
12月9日～12月22日	チラシの企画及び作成
1月29日	1月ミニ講座→中止
2月2日～2月5日	事業企画打合せ（3月分）
2月19日	2月ミニ講座→中止
3月12日	3月ミニ講座開催

③関係機関との連携や医療や介護情報の提供

日 付	作 業 内 容
11月11日	高齢者支援課にPR活動
11月17日	松戸市地域包括支援センターのセンター長会議でPR活動
11月24日～12月15日	松戸市内4か所の地域包括支援センターにチラシ配布

4 事業成果について

(1)事業目的及び目標の達成について

① 新型コロナウイルスの拡大防止対策により、オンラインでの実施もしたが、実地利用者：11名、オンライン利用者：12名、計23名と目標達成人数には達することができなかった。

- ②新型コロナウイルス感染拡大により、当初の保健室開催場所を3か所に増やすことから変更し、イベントをリアルとオンラインの同時開催を企画。当初の目標に達することはできなかったが、ストレスが溜まりやすい状況下での音楽と健康の関係性をテーマにし、情報提供および体験型のイベントができた。
- ③協力員の増員においては、活動の実施が思うようにいかなかったため、活動報告できる機会も少なく、PRする情報が少なかったため、増員には至らずも、共感してくれている方がいるので、来年度以降に期待する。

(2) 取り組んだ課題の解決について

直接的な大きな問題解決に至ったかは不明ではあるが、利用者の悩みや不安ごとに対応することで、お帰りになるときは表情もよくなり、笑顔で「来てよかった」「話を聞いていただいてよかった」と言葉をいただくため、心の負担の軽減に役立つ関わりができたのではと考える。オンライン相談（無料）を立ち上げたが、全く活用できなかった。

5 今後の事業展開

この事業を行っていることを一人でも多くの人に周知していくこと、継続・連続的に開催をして、参加しやすい環境を作っていくことが大切かと考える。参加しやすいイベントを今後も開催していき、PRの方法も検討していく必要があると考える。また、新型コロナウイルス感染の影響はもうしばらく続くということが考慮されるが、「だからこそ」の実施が求められているような想いもあるため、この事業が「不要不急」のものではなく、「必要不可欠」なものと思っただけのように努力していきたい。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	事業収入(実地開催分)	¥ 105,000	¥ 3,000	¥ 102,000	保健室500円×6名
	イベント・講座参加料(実地開催分)	¥ 25,000	¥ 2,500	¥ 22,500	500円×5名分
	団体拠出金	¥ 0	¥ 6,928	¥ ▲6,928	事業の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 130,000	¥ 12,428	¥ 117,572	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 92,128	¥ 7,872	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 230,000	¥ 104,556	¥ 125,444	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	¥ 10,000	¥ 20,000	外部講師謝礼(イベント) 10,000円×1回
	印刷製本費	¥ 27,000	¥ 13,618	¥ 13,382	チラシ印刷 講座分: 3.74円×2000枚、2.99円×800枚 チラシ印刷 イベント分: 3.74円×1000枚
	消耗品費	¥ 17,300	¥ 16,936	¥ 364	(保健室実施開催用) ハンドマッサージ材料(アロマオイル 3400円×1) 体温計 4266円×1、フェースシールド1647円、衛生材料(ペーパータオル・消毒用アルコール2563円) 紙コップなど 1210円、電気ケトル 3850円、CDデッキ(コロナの影響で内容変更により購入せず)
		¥ 15,300	¥ 6,792	¥ 8,508	(事務用品) プリンター用インク 6061円、コピー用紙 621円、文房具類 110円
		¥ 8,050	¥ 0	¥ 8,050	(イベント開催用) イベント消耗品
	食糧費	¥ 21,500	¥ 2,384	¥ 19,116	講師用ドリンク代 75円、利用者用ティーパック 1030円、利用者用お菓子 1279円
	使用料及び賃借料	¥ 87,900	¥ 24,035	¥ 63,865	会場使用料2530円×2時間×4回(10/30、11/27、12/11、12/25)、2530円×1.5時間×1回(3/12)
		¥ 12,000	¥ 4,400	¥ 7,600	キーボードレンタル料 4400円(プロジェクターから変更)
	通信運搬費	¥ 750	¥ 24,200	¥ ▲23,450	ZOOM使用料 2,200円×11月分
		対象経費の合計(D)	¥ 219,800	¥ 102,365	¥ 117,435
(その他経費)	交通費	¥ 10,200	¥ 2,191	¥ 8,009	会員の交通費 356円×1人分、367円×5
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額(E)	¥ 10,200	¥ 2,191	¥ 8,009	
	合計額(F) = (D+E)	¥ 230,000	¥ 104,556	¥ 125,444	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 7,872
------------	---------

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	事業収入（実地開催分）	¥ 3,000	働くひとのまちなか保健室【参加者】10/31*2名 500円×2名、11/27*2名 500円×2名、 12/25*1名 500円×1名、3/12*1名 500円×1名
	イベント参加料（実地開催分）	¥ 2,500	12/11スペシャルイベント リアル参加者*5名 500円×5名
	団体拠出金	¥ 6,928	事業の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 12,428	
市	市民活動助成金	¥ 92,128	
合計額		¥ 104,556	

【支出】

科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 10,000 ■外部講師謝礼 12/11スペシャルイベント 内田瑞穂氏 10,000円×1回
	印刷製本費	¥ 13,618 【広報チラシの印刷代】 ■保健室分：オンライン相談のチラシ 3,74円×1000枚 10-12月開催のチラシ 3,74円×1000枚 1,2月開催のチラシ 2,9975円×800枚 ■イベント分：スペシャルイベント開催のチラシ（12/11） 3,74円×1000枚
	消耗品費	¥ 16,936 【保健室実施開催用】ハンドマッサージ材料のアロマオイル 3400円 衛生材料（消毒用アルコール）2563円 体温計 4266円 マウスシールド（10個入り）990円 フェイスシールド 657円 断熱カップ 440円、持ち帰り用袋 550円、トング 110円、ランチョンマット 110円、電気ケトル 3850円
		¥ 6,792 （事務用品）プリンター用インク 6061円、コピー用紙 621円 文房具（領収証） 110円
	食糧費	¥ 2,384 講師用ドリンク75円、利用者用ティーパック（3種）1030円、利用者用お菓子 1279円
	使用料及び賃借料	¥ 24,035 ■松戸スタートアップオフィス会場使用料 10月31日保健室の実施分 2530円×2時間 11月29日保健室の実施分 2530円×2時間 12月11日スペシャルイベント実施分 2530円×2時間 12月25日保健室の実施分 2530円×2時間 3月12日保健室の実施分 2530円×1.5時間
		¥ 4,400 12/11スペシャルイベント実施分/キーボードレンタル料 4400円×1台
	通信運搬費	¥ 24,200 ZOOM使用料 2,200円×11月分（5月～翌3月まで）
	対象経費の合計	¥ 102,365
	その他経費	交通費
その他経費の合計		¥ 2,191
合計額		¥ 104,556

子育てが楽しくなる地域コミュニティ事業

なないろのもり

活動状況報告書

1 事業名称 子育てが楽しくなる地域コミュニティ事業

2 実施主体

■団体名： なないろのもり

従事者数： 5名

団体概要：子育て世代を中心に親子で一緒に楽しめるイベントを定期的で開催。人と人が繋がる場所をつくることで孤立することなく、地域とつながり、今しかない子育て時期を楽しめる環境づくりを目指し活動。

3 事業の実施内容

I 夏の体験会の実施【事業計画の夏まつり、夏のまなび・あそびの場を夏の体験会（オンライン配信）として実施】

日付	作業内容
4月3日	事業企画打ち合わせ・コロナ禍での事業開催について検討
6月29日	事業企画・検討打ち合せ
7月20日～31日	講師依頼・打ち合せ
8月3日～7日	告知・動画撮影・編集作業等、配信準備
8月11日～31日	夏の体験会 4講座のオンライン配信ダンス・あたまのたいそう・組紐作り・アロマポット作り（参加者延べ56名 オンライン講師4名（外部1名・内部3名））

II クリスマスフェスティバルの実施【事業計画よりステージのオンライン配信や完全予約・入場3部入替え制など開催方法を変更して実施】

日付	作業内容
10月1日～9日	イベント企画打ち合わせ
10月16日～12日	チラシの企画及び作成・イベント協賛者の依頼
10月21日～28日	チラシの校正・印刷・オンライン予約フォーム作成
11月1日～	チラシPR活動（市内と近隣幼保・小中学校や商店・地域新聞折込み）
11月5日	協賛者説明会（対面・ZOOM併用）
11月6日～	新方式での開催の検討・準備・予約スタート
12月5日	クリスマスフェスティバル まつど市民活動サポートセンター （来場者420名・（出展、ボランティア30名・スタッフ10名・オンライン視聴20名）
12月17日	ふりかえり

Ⅲ 春休み体験会【事業計画の冬休み体験会を延期してオンラインと対面で実施】

日付	作業内容
11月9日	事業企画打ち合わせ・開催延期について検討
12月24日、1月	事業企画・検討打ち合せ
2月1日～19日	講師依頼・打ち合せ（オンライン併用開催方法などの打ち合せ）
3月1日～	チラシ印刷・告知・準備
3月29日～31日	春休み体験会 4講座のオンライン配信（パンづくり（講師1名）・フラワーアレンジメント（講師1名）・プログラミング（講師3名）・パラコードキーホルダーづくり（内部講師1名）） （オンライン参加25名・来場者60名）

Ⅳ 子ども登録者制度【事業計画の変更→公式LINE・メール配信登録制度として実施】

日付	作業内容
4月3日	事業企画打ち合わせ・制度の見直しについて検討
6月29日～	公式LINEアカウントの告知強化
11月6日～	メール配信登録者募集開始
3月3日	現在公式LINE登録69名・メール配信登録77名

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

・コロナ禍において、各イベントの開催形態を大幅に変更し、オンライン併用しながら、開催しました。イベント収容人数の制限を行ったため、来場者目標は減員とならざるをえませんでした。オンライン動画配信やZOOM視聴での参加者を合わせますと、令和2年度の来場者目標は全体で約30%減程度に抑えられています。

（夏の体験会オンライン配信は56名に向け、クリスマスフェスティバル来場者延べ420名、オンライン視聴延べ20名、春休み体験会85名）

コロナ禍においてのイベント開催は安全第一に感染対策を講じながら、今できる開催方法をと、試行錯誤の繰り返しでした。夏のオンライン配信に始まり、舞台のライブ配信やZOOMを使用した講座などのオンラインでの活動と、人数制限・完全予約制に変更して、少人数、入れ替え制での来場イベントを併用できた点では、令和2年度の目標は大方達成できたと思っています。

・登録者につきましては、年間の事業が先に読めない為に今年度は制度を変更しました。

(2) 取り組んだ課題の解決について

コロナ禍においても、子育て世代の親子で楽しめる企画を開催できたことは、新たな様式、方法での活動の幅を広げることができ、今後の活動に可能性を感じました。

5 今後の事業展開

オンラインの便利さや可能性を事業で体感する事ができたことは収穫ですが、一方で実際に会ってのコミュニケーションの重要性を再認識しました。地域から孤立する親子が出ないように、感染状況が落ち着いていくと同時に、今後は子ども達や子育て世代の親子への心のケアもサポートできるような活動の展開が必要と考えています。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 117,500	¥ 68,500	¥ 49,000	Xmasフェスティバル協賛金 10000円×2、5000円×1、4500円×1、3000円×7、1500円×12
		¥ 0	¥ 13,100	¥ ▲13,100	Xmasななもり緑日参加費100円×131名
		¥ 0	¥ 50,700	¥ ▲50,700	春の体験会参加費パン (1500円×10名) 15000円 パラコード (800円×16名、500円×5名) 15300円 フラワーアレンジ (600円×34名) 20400円
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 117,500	¥ 132,300	¥ ▲14,800	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 217,500	¥ 232,300	¥ ▲14,800	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 58,000	¥22,000	¥ 36,000	夏の体験会オンライン講師料 3000円×1名 春の体験会講師料 パンづくり10000円 フラワーアレンジメント8000円 保育サポート謝礼1000円
	委託料	¥ 18,000	¥12,475	¥ 5,525	Xmasイベント装飾制作費3000円 地域新聞チラシ折込み代3475円 春の体験会チラシデザイン制作費6000円
	消耗品費	¥ 35,900	¥102,762	¥ ▲66,862	コロナ対策費 (消毒液、マスク等) オンライン配信関連用品 (Webカメラ、ケーブル、USB等) XmasFestival緑日景品等 夏・春ワークショップ材料費等 他、コピー用紙、イベント消耗品 (テーブル、シート) 等
	印刷製本費	¥ 25,000	¥12,320	¥ 12,680	XmasFestivalチラシ印刷代4000部 8370円 春の体験会チラシ印刷代500部 3950円
	使用料及賃借料	¥ 38,600	¥36,820	¥ 1,780	ZOOM有料版使用料2200円×2 4400円 夏の体験会オンライン打合せ 1540円 XmasFestival打合せ、動画配信準備、当日控室等 13970円 春の体験会打合せ 1540円、リハーサル・当日15370円
	保険料	¥ 28,000	¥ 9,296	¥ 18,704	行事保険 XmasFestival 7000円 行事保険 春の体験会 2296円
	食糧費	¥ 3,000	¥ 0	¥ 3,000	コロナウイルス感染症の影響によりイベントを変更したため、未使用
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 206,500	¥ 195,673	¥ 10,827	
(対象外) 経費	食糧費	¥ 6,000	¥ 11,933	¥ ▲5,933	XmasFestivalボランティア昼食代 6000円 XmasFestivalボランティアお茶代 1736円 春の体験会協賛者講師お礼お菓子 3240円 春の体験会講師お茶 957円
	交通費	¥ 5,000	¥ 3,770	¥ 1,230	駐車場、ガソリン代
	内部講師料	¥ 0	¥ 9,000	¥ ▲9,000	夏休み体験会講師 3000円×2 6000円 春の体験会 3000円
	通信費	¥ 0	¥ 11,924	¥ ▲11,924	スタッフ間通信費
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 11,000	¥ 36,627	¥ ▲25,627	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 217,500	¥ 232,300	¥ ▲14,800	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	事業収入	¥68,500	Xmasフェスティバル協賛金 10000円×2、5000円×1、4500円×1、3000円×7、1500円×12
		¥13,100	Xmasななもり緑日参加費 100円×131名
		¥50,700	春の体験会参加費パン(1500円×10名) 15000円 パラコード(800円×16名 500円×5名) 15300円 フラワーアレンジ(600円×34名) 20400円
	自己資金の合計額	¥132,300	
市	市民活動助成金	¥100,000	
	合 計 額	¥232,300	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥22,000	夏の体験会オンライン講師料 3000円×1名 春の体験会講師料 パンづくり10000円 フラワーアレンジメント8000円 保育サポート謝礼 1000円
	委託料	¥12,475	Xmasイベント装飾制作費3000円 地域新聞チラシ折込み代3475円 春の体験会チラシデザイン制作費6000円
	消耗品費	¥102,762	消毒液5595円 インクカートリッジ5300円 養生テープ2398円、ビニールテープ110円 Xmas感染対策用品など9196円 マスク代1999円、オンライン配信用品2498円(USB延長ケーブル799円、HDMIケーブル1699円)、USBメモリー3個5280円(1600円×3+消費税480円) 緑日お菓子3999円、景品822円、660円、1650円、2413円、夏・春ワークショップ材料費2640円、4040円、516円、1218円、グリーンシート5250円、1750円 オンライン用ヘッドフォン3140円 オンライン用Webカメラ4999円 印刷用紙360円 春の体験会材料費31930円(パン14000円・ラップ・洗剤・スポンジ・キッチンタオル等930円・お花17000円) オンライン配信用三脚4999円
	印刷製本費	¥12,320	XmasFestivalチラシ印刷代4000部 8370円、春の体験会チラシ印刷代500部 3950円
	使用料	¥36,820	ZOOM有料版使用料2200円×2 4400円 サボセン第1会議室夏休みオンライン配信打ち合わせ1540円 サボセン第1会議室XmasFestival打ち合わせ3520円・サボセン第2会議室Xmas協賛者向け説明会実施分440円・多目的ホール動画配信準備1650円 前日準備2200円 サボセン多目的ホール Xmasフェスティバル当日スタッフ控え、来場者待機場所5500円 XmasFestivalふりかえり660円 春の体験会打合せ第一会議室1540円 春の体験会オンラインリハーサル1200円 春の体験会会場費14170円
	保険料	¥9,296	行事保険 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 Xmasフェスティバル (12/5 28円×250人) 7000円 行事保険 損害保険ジャパン日本興亜株式会社春の体験会 (3/29 28円×20名 3/30 28円×27名 3/31 28円×35名) 2296円
	対象経費の合計	¥195,673	
その他経費	食糧費	¥11,933	Xmasボランティア昼食代6000円(500円×12名) ボランティアお茶1736円(24名) 春の体験会協賛者講師お礼お菓子3240円 春の体験会講師お茶10本 957円
	交通費	¥3,770	駐車場代220円 駐車場代550円 ガソリン代3000円
	スタッフ講師料	¥9,000	夏休みオンライン3000円×2 6000円 春の体験会 3000円
	通信費	¥11,924	スタッフ3308円×3名 9924円 1000円×2名 2000円
	その他経費の合計	¥36,627	
	合 計 額	¥232,300	

野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！

地域猫スタート相談会事業

松戸地域猫スタートサポート

活動状況報告書

1 事業名称 野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！地域猫スタート相談会事業

2 実施主体

団体名： 松戸地域猫スタートサポート

従事者数： 3名

団体概要： 市民を対象に地域猫活動の普及の為に、合法的な捕獲の指導や屋外猫の調査、地域での相談会やセミナーの開催による環境教育、環境保護の普及啓発に関する事業を行い、地域の生活環境と自然環境の改善に務める事で人と調和がとれた環境社会づくりに寄与する事を目的とする。

3 事業の実施内容

I 毎月の作業チラシ印刷、配布等

日付	作業内容
毎月 15 日～20 日	翌月の事業開催企画打ち合わせ 相談会の準備
6 月	周知のための発送
11 月	チラシの企画及び作成
12 月	チラシの印刷 チラシの PR 活動と配布
1 月	周知のための発送
2 月	チラシの印刷 チラシの PR 活動と配布
3 月	年度末、集大成のため今までより大規模のチラシ印刷 チラシの配布（新聞折込） ふりかえり、会場と電話相談アンケート集計（集計対象：110名）

II 野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！地域猫スタート相談会

実施日	開催場所、参加者数
4 月から 7 月	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催を中止
8 月 22 日	八ヶ崎市民センター 8 名
9 月 19 日	東部市民センター 3 名
10 月 28 日	六実市民センター 5 名

11月16日	馬橋市民センター	5名
11月25日	新松戸市民センター	3名
12月10日	常盤平市民センター	4名
1月20日	明市民センター	4名
2月4日	馬橋東市民センター	2名
2月17日	小金市民センター	2名
3月10日	勤労会館	5名
3月31日	まつど市民活動サポートセンター	9名
4月～3月	電話相談	合計63件

※外部経験者の講義は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、未実施。

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

目標の参加人数を100名以上としていましたが、新型コロナウイルスの影響で予定していた4月から7月までの相談会を開催できなかったことと、8月から3月の開催では予約制にした為に、想定外に参加者が大幅に減少し、合計50名となってしまいました。

それでも参加して下さった方からは、来て良かったと言っただき、アンケートより地域猫の理解が深まったことは90%以上に達成出来ているデータになりました。

(2) 取り組んだ課題の解決について

地域猫活動に対しての活動内容やルールなどの理解や実際に行動に移して下さるようにと指導をさせていただきました。

予想外に相談会・セミナーには参加する事を躊躇していた方が多く、その代わりに電話対応やLINEによる相談が元年度よりとても多く、SNS・LINE等と電話相談の人数は今年度令和2年度4月から数えると元年度の2倍以上の80人弱の対応を致しました。直接会えない分やり取りが大変で、1人に付きやり取りの合計の平均で2時間は費やしましたが、地域猫活動に興味を持つ市民が増えていることを実感しました。

5 今後の事業展開

新型コロナウイルスに対しての生活や人と人との関わり合いが分からなかったのが、活動する側なのに考えてしまいました。電話などでも市民の皆様は真剣に考えて下さり、生き物相手、人間相手に止まっていられないから頑張れという多くの励ましを頂きました。

来年度は、地域包括支援センターと協力し、新型コロナウイルスに対するきちんとした感染予防対策をしながら、今年度の上半期を取り戻せるように、協力して下さった市民の方々や職員の方々に学んだ事を生かして、より活発に周知活動に力を入れたいと考えて

います。少しずつですが、地域猫スタートサポートが知られてきましたが、まだまだです。

誰もが自分の住む街で安全に安心して暮らしていきたいと思っています、その小さな事です、少しでも力になるには知られていかなくてはならないと考えます。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 64,056	¥ 63,318	¥ 738	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 64,056	¥ 63,318	¥ 738	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 164,056	¥ 163,318	¥ 738	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料	¥ 29,260	¥ 2,130	¥ 27,130	会場使用料
	報酬費	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	外部経験者による講義を実施しなかったため
	印刷製本費	¥ 41,316	¥ 60,943	¥ ▲19,627	チラシ印刷・コピー印刷
	消耗品費	¥ 8,000	¥ 12,287	¥ ▲4,287	コピー用紙・プリンターインク代・文具・衛生用品
	食糧費	¥18,000	¥6,288	¥ ▲11,712	参加者用ペットボトル飲料
	通信費	¥ 9,400	¥ 21,992	¥ ▲12,592	周知はがき、切手
	委託費	¥ 0	¥ 24,420	¥ ▲24,420	チラシ配布委託 (配布方法として新聞折込を行ったため科目を追加)
		対象経費の合計 (D)	¥ 135,976	¥ 128,060	¥ 7,916
(その他) 経費	交通費	¥ 10,080	¥ 12,780	¥ ▲2,700	構成員交通費 9回開催
	食糧費	¥ 18,000	¥ 13,790	¥ 4,210	構成員昼食費・参加者用菓子 9回開催 延べ26人
	印刷製本費	¥ 0	¥ 1,980	¥ ▲1,980	コピー代
	消耗品費	¥ 0	¥ 110	¥ ▲110	安全ピン
	出展料	¥ 0	¥ 1,000	¥ ▲1,000	みらいフェスタ 参加費
	通信費	¥ 0	¥ 5,598	¥ ▲5,598	配布願いの時の配送料 チラシ郵送用切手 チラシ配送料
		その他経費の合計額 (E)	¥ 28,080	¥ 35,258	¥ ▲7,178
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 164,056	¥ 163,318	¥ 738	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 63,318	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 63,318	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
合計額		¥ 163,318	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 2,130	2020年10月28日六実市民センター¥1150・2021年2月4日馬橋東市民センター¥980
	印刷製本費	¥ 60,943	広報チラシの印刷代（9月発注分 11,659円、12月発注分 13,289円、3月発注分 31,470円）、コピー代 4,525円
	消耗品費	¥ 12,287	事業用消耗品 A4コピー用紙5000枚 A4 ¥5,159、コピー用紙2500枚 ¥1,639 プリンターインク¥2,200 文具¥2,310 マスク ¥979
	食糧費	¥ 6,288	参加者用ペットボトル飲料 52本（1回あたり5本程度準備したため）
	通信費	¥ 21,992	周知ハガキ63円×100枚／周知ハガキ73円×200枚 チラシ周知用切手84円×10枚／63円×4枚
	委託費	¥ 24,420	チラシ配布委託 1枚¥4.07(税込)×6000枚（秋山・高塚新田・栗山・矢切）
	対象経費の合計	¥ 128,060	
その他経費	食糧費	¥ 13,790	昼食代 500円×26人(延べ) 参加者用菓子
	交通費	¥ 12,780	8/22:720 9/19:1080 10/28:2520 11/25:2040 12/16:2160 1/20:900 2/17:1020 3/10:1020 3/31:1320
	印刷製本費	¥ 1,980	コピー代 5円×214枚 30円×2枚 印刷代350枚
	消耗品費	¥ 110	安全ピン
	出展料	¥ 1,000	みらいフェスタ 参加費
	通信費	¥ 5,598	チラシ配布願い時送料・チラシ郵送用切手・チラシ配送料
	その他経費の合計	¥ 35,258	
合計額		¥ 163,318	

プレママ教室事業

ふふふママ大学

活動状況報告書

- 1 事業名称 プレママ教室事業
- 2 実施主体
- 団体名： ぶぶぶママ大学
- 従事者数： 6名
- 団体概要： プレママプレパパを応援する団体。良いお産が良い育児のスタートとなることから、より良いお産に向けて、胎教や育児に役立つプレママ教室を企画・運営しています。

3 事業の実施内容

I 計画変更の検討【コロナ禍で活動を自粛、話合いのみ】

日 付	作 業 内 容
4月3日(金)～ 5月24日(日)	事業企画打ち合わせ
6月19日(金)	プレママ教室(対面型)を動画配信によるビジュアル講座に変更する。4講座で1期として、3期予定していたがビジュアル講座に変更したことで、8・9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月の計7期実施する。(金ヶ作熊野神社での対面講座、3回は実施とする)

II ビジュアル講座の準備【事業計画よりスケジュールを変更】

6月22日(月)	ビジュアル講座の動画撮影の場所を借りる。(7/5分) (松戸市の公共施設の利用制限があり、亀有地区センターを借りる)
6月23日(火)	まつど de 子育てライン 8月号配信依頼
7月1日(水)～ 7月4日(土)	ビジュアル講座撮影打ち合わせ
7月5日(日)	亀有地区センターにてビジュアル講座動画撮影、外部講師依頼
7月6日(月)～ 8月2日(日)	動画撮影、動画編集、外部委託
7月7日(火)	まつど de 子育てライン 9月号配信依頼

Ⅲ ビジュアル講座の実施【事業計画よりスケジュール変更】

8月3日(月)	8.9月期、1回目配信内容校正
8月9日(日)	映像アップ(5組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
8月11日(火)	・8.9月期、2回目配信内容校正 ・まつどde子育てライン、10月号配信依頼
8月16日(日)	映像アップ(6組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
8月24日(月)	8.9月期、3回目配信内容校正
8月30日(日)	映像アップ(8組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
9月23日(水)	・8.9月期、4回目配信内容校正 ・まつどde子育てライン11月号配信依頼
9月27日(日)	映像アップ(10組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
10月1日(木)	10月期、1回目配信内容校正
10月4日(日)	映像アップ(13組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
10月6日(火)	・10月期、2回目配信内容校正
10月11日(日)	映像アップ(13組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
10月13日(火)	・10月期、3回目配信内容校正 ・まつどde子育てライン12月号配信依頼
10月18日(日)	映像アップ(11組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
10月20日(火)	10月期、4回目配信内容校正
10月25日(日)	映像アップ(11組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
10月27日(火)	11月期、1回目配信内容校正
11月1日(日)	映像アップ(8組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
11月4日(水)	・11月期、2回目配信内容校正 ・まつどde子育てライン1月号配信依頼
11月8日(日)	映像アップ(8組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除

11月10日(火)	11月期、3回目配信内容校正
11月15日(日)	映像アップ(8組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
11月17日(火)	11月期、4回目配信内容校正
11月22日(日)	映像アップ(8組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
12月1日(火)	12月期、1回目配信内容校正
12月6日(日)	映像アップ(6組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
12月8日(火)	12月期、2回目配信内容校正
12月13日(日)	映像アップ(6組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
12月15日(火)	・12月期、3回目配信内容校正 ・まつど de 子育てライン2月号配信依頼
12月20日(日)	映像アップ(6組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
12月22日(火)	12月期、4回目配信内容校正
12月27日(日)	映像アップ(6組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
1月5日(火)	1月期、1回目配信内容校正
1月10日(日)	映像アップ(8組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
1月12日(火)	1月期、2回目配信内容校正
1月17日(日)	映像アップ(9組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
1月19日(火)	・1月期、3回目配信内容校正 ・まつど de 子育てライン3月号配信依頼 ・チラシ印刷
1月24日(日)	映像アップ(7組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
1月26日(火)	1月期、4回目配信内容校正
1月31日(日)	映像アップ(8組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
2月2日(火)	・2月期・1回目配信内容校正 ・2/5~2/16 チラシのPR活動

2月7日(日)	映像アップ (12組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
2月9日(火)	2月期・2回目配信内容校正
2月14日(日)	映像アップ (12組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
2月16日(火)	・2月期・3回目配信内容校正 ・まつど de 子育てライン 4月号配信依頼
2月21日(日)	映像アップ (13組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
2月22日(月)	2月期・4回目配信内容校正
2月28日(日)	映像アップ (17組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
3月2日(火)	3月期、1回目配信内容校正
3月7日(日)	映像アップ (8組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
3月9日(火)	・3月期、2回目配信内容校正
3月14日(日)	映像アップ (8組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除
3月16日(火)	・3月期、3回目配信内容校正 ・まつど de 子育てライン 5月号配信依頼
3月21日(日)	映像アップ (9組参加) 申込者にユーチューブアドレスの連絡、終了後動画削除

【対面講座 会場：金ケ作熊野神社】

9月12日(土)	9/13の対面講座を電話での打合せ
9月13日(日)	金ケ作熊野神社 対面講座(講師：助産師・宮司)実施(2組3名参加) 終了後反省会
11月28日(土)	11/29の対面講座を電話での打合せ
11月29日(日)	金ケ作熊野神社 対面講座(講師：助産師・宮司)実施(1組2名参加) 終了後反省会
3月12日(金)	3/28の回のチラシ印刷
3月16日～26日	チラシのPR活動
3月27日(土)	3/28の対面講座を電話での打合せ
3月28日(日)	金ケ作熊野神社 対面講座(講師：助産師・宮司)実施(4組8名参加) 終了後反省会

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

新型コロナウイルス感染予防から、対面講座からビジュアル講座に変更しました。その結果、参加実数が72組。リピートの参加を含めると、参加総数は221人でした。昨年は参加実数は31人、参加総数は50人でした。昨年度は対面講座の為、参加者のカウントができましたが、ビジュアル講座では、本当に視聴されたのかから始まり、ご主人も視聴されたのかと実態が判断できません。1回の視聴参加数は6～17組があり、講座1回につき計画目標の10組はほぼ達成できました。講座視聴後にお願いしている感想や意見は全体の25%ほどの返信がありました。感想や意見は好評価でした。

「事業目的③」のマタニティヨガは、マタニティヨガはマタニティストレッチに変更しセルフケアを毎回入れました。他事業目的は、丁寧に動画で説明ができました。

対面講座の参加は、1組、2組の参加と少なかったため妊婦さん同士で知り合う場としては広げることができませんでした。

計画目標の会員協力者は30名はコロナ禍の自粛期間が長かったことから、18名となりました。

(2) 取り組んだ課題の解決について

解決できた点は、視聴後の感想が、講座を楽しめた。楽しく学べた。充実した内容だった。夫に観てもらえて良かった。先輩ママパパのお話しが参考になった、愛着や赤ちゃんの睡眠を知れて良かった、松戸市や民間のサポート制度を知れて良かった、育児うたやわらべうたが良かった、などの言葉がありました。妊婦期の不安や心配にどこまで役に立てたかはわかりませんが、楽しんでいただけている声は 53 件頂けています。(別紙 3)

5 今後の事業展開

来年度のビジュアル講座の内容充実を図り、新たに、赤ちゃんの事故防止コーナーや、赤ちゃんを知ってもらう為の赤ちゃんの不思議コーナーや、妊婦さん対象のたくさんの絵本の紹介や、パパとママとふたりでできる体のケアや、赤ちゃんとの遊びのコーナーを充実させて、先輩ママパパシリーズも新たに 6 人の方にお話ししてもらい、内容を豊かにしていきます。

ビジュアル講座のアンケートの内容の充実やメールでアンケートを返してもらえる努力を話し合いと、他団体のリサーチをして工夫を実践します。

会員協力者を、チラシを貼ってもらう依頼時に募る努力をしていきます。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	講座参加料	¥ 60,000	¥ 6,500	¥ 53,500	500円(参加料)×13人
	ぶぶぶママ大学団体拠出金	¥ 17,800	¥ 4,397	¥ 13,403	
	寄付金	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 77,800	¥ 10,897	¥ 66,903	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 98,066	¥ 1,934	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 177,800	¥ 108,963	¥ 68,837	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 90,000	¥ 75,000	¥ 15,000	外部講師謝礼、助産師 15000円×3回、宮司 10000円×3回	
	消耗品費	¥ 15,600	¥ 743	¥ 14,857	印刷用紙 (308円、435円)	
	消耗品費	¥ 14,000	¥ 13,043	¥ 957	封筒 (165円)、インクセット (4708円、3520円) 消毒液 (1738円) 消毒シート (162円) 手遊び書籍 (2750円)	
	印刷製本費	¥ 15,000	¥ 7,300	¥ 7,700	ポスターの印刷代 (2040円、3850円) チラシ (1410円)	
	印刷製本費	¥ 4,200	¥ 0	¥ 4,200	作成しなかった理由：年12回の対面講座を、コロナ禍で年3回に変更しました。参加者の数が予測できないことから、自宅で申し込みのあった分を作成しました。	
	印刷製本費	¥ 18,000	¥ 0	¥ 18,000	作成しなかった理由：コロナ禍、外出自粛でしたのでリーフレットを作成しても手に取る機会が少ないことから見合わせました。	
	保険料	¥ 10,800	¥ 0	¥ 10,800	ビジュアル講座に変更した為	
	委託料	¥ 0	¥ 10,000	¥ ▲10,000	動画撮影費、動画編集費、ビジュアル講座に変更した為	
	使用料	¥ 9,600	¥ 2,200	¥ 7,400	会場使用料 (1300) 駐車場使用料 (900) ※機材、託児用のウレタンマット、おもちゃを運搬する為、車を使用しました。	
	食糧費	¥ 600	¥ 677	¥ ▲77	講師のお茶：6本 (518円、159円)	
		対象経費の合計 (D)	¥ 177,800	¥ 108,963	¥ 68,837	
	(その他経費)	食糧費			¥ 0	
交通費				¥ 0		
				¥ 0		
その他経費の合計額 (E)		¥ 0	¥ 0	¥ 0		
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 177,800	¥ 108,963	¥ 68,837		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 1,934
-----	---------

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	講座参加料	¥ 6,500	金ヶ作熊野神社の対面講座 500円(参加料)×13人
	ぶぶぶママ大学団体 拠出金	¥ 4,397	
	自己資金の合計額	¥ 10,897	
市	市民活動助成金	¥ 98,066	
	合 計 額	¥108,963	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項(用途など)
助成金の 交付対象経費	報償費	¥ 75,000	講師謝礼 講師名：助産師 鎌田智子氏 15000×3回 講師名：金ヶ作熊野神社 宮司 高橋丈夫 10000×3回
	消耗品費	¥ 13,786	印刷用紙(308円、435円)、封筒(165円)、インクセット×2(4708円、3520円) 消毒液(1738円)、消毒シート(162円)、手遊び書籍(2750円)
	印刷製本費	¥ 7,300	ポスター印刷代 800部 (ビジュアル講座のポスター、2040円) ポスター印刷代 700部 (金ヶ作熊野神社 対面講座のポスター、3850円) チラシ印刷代 500部 (ビジュアル講座のチラシ、1410円)
	委託料	¥ 10,000	池田考氏 映像撮影と映像編集 (7/5, 8/12)
	使用料	¥ 2,200	亀有地区センター使用料 3H 会議室 200円×3H=600円 7H 和室 100円×7H=700円 駐車場代 900円
	食糧費	¥ 677	講師のお茶 6本
		対象経費の合計	¥108,963
その他経費	食糧費		
	交通費		
	その他経費の合計	¥ 0	
	合 計 額	¥108,963	

歴史ある団体や地域企業との
協働による地域発展事業

北小金ドリームプロジェクト

活動状況報告書

1 事業名称 歴史ある団体や地域企業との協働による地域発展事業

2 実施主体

■団体名： 北小金ドリームプロジェクト

従事者数： 17名

団体概要： 本会は、松戸市北小金駅周辺に隣接する商店及び事業を営む者を会員とし、活力と魅力ある地域づくりを目指し、業務の振興・地域経済の発展を主な目的とし、この活動を次世代に繋げていけるよう会員の親睦と結束を図り活動を行うために、2019年1月1日設立とする。

3 事業の実施内容

I 飲食店応援プロジェクト【当初事業計画から追加した事業(イベント等中止により地域発展事業の代替事業として追加)】

日 付	作 業 内 容
4月22日	事業企画発案
4月23日	フェイスブックページ北小金応援プロジェクト立ち上げテイクアウト情報(北小金持ち帰り飯)の発信
5月7日～	北小金持ち帰り飯のポスター作成・配布
5月25日	イートイン情報も追加発信(北小金グルメ)
11月15日～	フェイスブックページ北小金応援プロジェクトへの掲載許可をとる際に飲食店にお渡しする紹介カードを作成・配布
現在	継続してフェイスブック・インスタグラム・ツイッター・ブログにて情報発信中

II 朝市【事業計画の朝市イベントを中止(新型コロナ感染者数増加のため)】

日 付	作 業 内 容
9月11日	事業企画発案
9月18日	開催日と開催場所の決定 11月29日(日) Soy diner、Soy diner 1階昭栄さん前、隣の梅澤さん駐車場
10月22日～	朝市のポスター掲示を町会に依頼
11月1日	朝市ポスター作成・配布
11月20日	コロナ感染者急増のため中止を決定
11月20日～	掲示されているポスターの上に貼る開催中止シールの作成・配布・貼付

現在	2021 年内の開催に向け、開催時期・場所・感染対策等諸々検討中
----	----------------------------------

Ⅲ リーフレットの発行・配布

日 付	作 業 内 容
5 月 13 日	デザイナーとの打ち合わせ
6 月 22 日	集合写真撮影
7 月 14 日	完成・会員店舗への配布
9 月 29 日～10 月 16 日	市民活動助成事業 事業 PR パネル展にてリーフレットのみ設置

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

コロナ禍により、当初予定していたハロウィン及びクリスマスマーケットのイベントを中止せざるを得なくなり、小規模で感染対策も配慮しつつ開催しようと計画していた朝市も、感染者数増加により、やむを得なく断念した。

飲食店応援プロジェクトはフェイスブック・インスタグラム・ツイッター等 SNS では好評いただいているが、SNS を利用しない世代に向けての紙媒体での発信は来期に向けて行っていきたい。

また、SNS のフォロワー数はフェイスブックが 290 名、フェイスブック内の北小金応援プロジェクトが 621 名、インスタグラム 429 名、ツイッター 174 名の計 1514 名と目標の 1000 人を上回ることが出来た。

朝市は残念ながら感染者数急増により、中止とした。開催を楽しみにしてくれた方々から次回の開催を楽しみにしているとお声があったので、今後、感染対策をより強化し、出店者も参加者も安心できる環境を作っていく開催したい。

(2) 取り組んだ課題の解決について

コロナ禍により当初予定していたイベントがことごとく中止となってしまったが、飲食店応援プロジェクトを立ち上げたことにより、地元においても知らないお店があることを知ってもらえて行ってみよう、テイクアウトしてみようと思っただけだったが、紙媒体の作成がまだできておらず、SNS を利用していない方々に周知することが出来なかった。

5 今後の事業展開

SNS の活用をもっと戦略的に活用していくとともに、SNS を利用していない世代に向けても情報を発信していきたい。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 75,000	¥ 33,228	¥ 41,772	事業費の一部を団体の会計より拠出
	イベント出店料	¥ 120,000	¥ 0	¥ 120,000	コロナウイルス感染症の影響により未実施
	リーフレット掲載料	¥ 90,000	¥ 0	¥ 90,000	コロナウイルス感染症の影響により未実施
	自己資金の合計額 (A)	¥ 285,000	¥ 33,228	¥ 251,772	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 53,892	¥ 46,108	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 385,000	¥ 87,120	¥ 297,880	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	印刷製本費	¥ 100,000	¥ 55,800	¥ 44,200	【コロナウイルス感染症の影響により事業変更】 朝市イベントチラシ 5,000円(1,000枚) 朝市イベント中止シール 1,500円(150枚) リーフレット 44,000円(1,000枚) 飲食店応援プロジェクトポスター印刷 3,000円(100枚) 飲食店応援プロジェクト紹介カード印刷 2,300円(300枚)
	報償費	¥ 100,000	¥ 0	¥ 100,000	ハロウィン・クリスマスイベント中止のため未使用
	保険料	¥ 13,000	¥ 0	¥ 13,000	イベント中止のため未使用
	消耗品費	¥ 50,000	¥ 4,080	¥ 45,920	腕章 4,080円(20枚)
	使用料及び賃借料	¥ 22,000	¥ 0	¥ 22,000	コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止 および検温機器レンタル購入のため未使用
				¥ 0	
	対象経費の合計(D)	¥ 285,000	¥ 59,880	¥ 225,120	
(その他)経費	備品購入費	¥ 100,000	¥ 0	¥ 100,000	イルミネーションイベント中止のため未使用
	報償費	¥ 0	¥ 5,130	¥ ▲5,130	朝市会場提供者への謝礼品
	振込手数料	¥ 0	¥ 330	¥ ▲330	リーフレット作成料振込手数料
	備品	¥ 0	¥ 21,780	¥ ▲21,780	非接触型体温計 21,780円
	その他経費の合計額(E)	¥ 100,000	¥ 27,240	¥ 72,760	
	合計額(F) = (D+E)	¥ 385,000	¥ 87,120	¥ 297,880	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 46,108
------------	----------

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 33,228	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	イベント出店料	¥ 0	朝市中止
	自己資金の合計額	¥ 33,228	
市	市民活動助成金	¥ 53,892	
	合計額	¥ 87,120	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
	印刷製本費	¥ 55,800	広報チラシの印刷代 朝市イベントチラシ 5,000円(1,000枚) 朝市イベント中止シール 1,500円(150枚) 飲食店応援プロジェクトポスター印刷 3,000円(100枚) 飲食店応援プロジェクト紹介カード印刷 2,300円(300枚) リーフレット印刷代 44,000円(1,000枚) 加盟店設置・イベント配布・配架用
	使用料及び賃借料	¥ 0	朝市中止
	保険料	¥ 0	朝市中止
	消耗品費	¥ 4,080	腕章 4,080円(20枚)
	対象経費の合計	¥ 59,880	
その他経費	報償費	¥ 5,130	朝市会場提供者への謝礼品(昭栄さん・梅澤さん) 購入後に中止
	振込手数料	¥ 330	リーフレット作成料振込手数料
	備品	¥ 21,780	非接触型体温計
	その他経費の合計	¥ 27,240	
	合計額	¥ 87,120	

外国人の子どものための新教室設立事業

認定 NPO 法人外国人の子どものための勉強会


活動状況報告書

- 1 事業名称 外国人の子どものための新教室設立事業
- 2 実施主体 認定 NPO 法人外国人の子どものための勉強会
- 団体名： 認定 NPO 法人外国人の子どものための勉強会
- 従事者数： 10名
- 団体概要： 外国人の子どもたちの学習支援を目的に 2003年9月 NPO 法人を設立、現在、約60名のボランティア・スタッフが所属し、松戸市内2か所の教室で地域の小中学校に通う子供を対象として；
- 1) 自立、学力向上のための日本語学習
- 2) 英国数等の学習
- 3) 高校受験支援（教科、作文、面接）を行ってきた。
- 近年増え続けるニーズに応えるため3番目の新教室設立を目的として本事業を実施した。

3 事業の実施内容


1) 現スタッフ指導力強化研修、新スタッフ養成講座

→日本語ボランティア養成講座として実施*5月20日開始予定を7月1日開始に変更

日 付	作 業 内 容
4月1日	日本語ボランティア・スタッフ養成講座募集開始
4月1日	広報まつど 養成講座案内掲載(4月1日号)
7月1日8日10日 22日24日29日 31日8月7日19日	養成講座(全9回)の実施 受講者 既スタッフ5名 新規15名 場所：新松戸市民活動支援コーナー 時間：13時30分～16時 講師：中野区国際交流協会 中野 眞理子氏
	

2) 新松戸教室の設置と授業 *オリジナルスケジュール通り実施

日 付	作 業 内 容
7月1日～8月30日	新松戸近隣中学訪問、教室開設案内の実施
8月23日	新松戸教室トライアル教室 新スタッフへの運営方針説明会 新スタッフ候補10名参加 場所：新松戸市民活動支援コーナー

<p>9月 2日 9日 16日 23日 30日 10月 7日 14日 21日 28日 11月 4日 11日 18日 25日 12月 2日 9日 16日 23日</p>	<p>新松戸教室実施（17回） 場所：新松戸市民活動支援コーナー、 新松戸市民センター第1、第2会議室 NPO 松戸くらしの助っ人（教材保管場所として利用） スタッフ：運営スタッフ3名 指導スタッフ10名 生徒：中学3年 4名 出身国フィリピン、中国、米国 中学1年 3名 出身国スリランカ、フィリピン、米国 小学5年 2名 出身国スリランカ、中国</p> 
<p>1月13日～3月17日</p>	<p>緊急事態宣言の為 休講</p>

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

<p>1. 現スタッフの指導力強化研修、新スタッフ養成講座（外部講師による講習） 中野区国際交流協会創設、1000名以上日本語ボランティアの育成実績を持つ中山眞理子氏を講師に招き全9回の日本語ボランティア養成講座を行った。既存教室スタッフ5名（指導力向上）新スタッフ候補15名、計20名が受講。講座は受講生を七つのグループに分け、それぞれチームごとの課題で模擬授業の形式の学習方法であり、新人は即戦力となる準備ができ、現スタッフには気付きを与え指導力の強化となった。 講座終了後、新松戸教室スタッフとして10名、既存教室の補充として1名が活動を開始した。</p> <p>2. 新松戸教室の設立 「新教室の開設事業」を始めるにあたり、令和1年12月に当会所属のスタッフ、有志10名でプロジェクトチームを結成。 事業計画を作成し各人役割分担とタイムスケジュールを決め新人スタッフ生徒の募集のチラシ作り学校、関連団体への直接の働きかけなどの事前準備を行い、4月1日からの垂直立ち上げとなった。新スタッフ養成講座の開始はコロナ禍の影響で約2か月延期となったが、教室の開設は予定通り行う事が出来た。 この活動の結果、令和3年度から当会の新松戸教室として本格活動に入る。</p>

(2) 取り組んだ課題の解決について

課題 → 解決/現状/結果

- ①現教室の指導方法の改善 → 新たに教材選別を行い、指導の充実を図り新松戸教室独自の指導方法を確立した。
- ②新教室及び既存教室スタッフ育成 → 新教室10名及び既存教室1名の新スタッフが新たに誕生した。
- ③受入生徒10—20名の目標 → 生徒数9名となった。コロナ禍でのスタートとなり、新規入国者の減少と近隣学校への新たな働きかけを行わず、生徒数は未達となった。
- ④学校の授業についていけない外国人の子どもへの支援 → 小学5年生に日本語の基礎学習と算数、米国から帰国間もない兄妹には漢字ドリル、中学1年生には 中学生活の日本語、中学3年生で作文面接での受験生には作文と日本語基礎の指導、学科受験の生徒には英語、数学の各専任スタッフによる指導と面接練習等々、各生徒の能力と状況を勘案し、最適な支援を実施した。結果、受験生3名は全員、公立高校に合格した。
- ⑤指導効果をもたらす教材の選別と確保 → 教室スタッフの検討、協議により、生徒の適正に合わせた教材を選択し、充実した教材の確保を行った。
- ⑥松戸市を網羅するネットワーク作りへの第1ステップ → 新松戸教室事業の実績は将来にわたり、松戸市内での新教室づくりへの一歩となった。

5 今後の事業展開

- 「新松戸教室の設立事業」は当初の目的である本教室設立への足掛かりとなった。次年度以降はさらなる運営基盤の強化を図り、教室としての機能の充実させていく。
- 1. 新松戸教室の活動場所の確保：
次年度は本年度と同様、新松戸市民活動支援コーナー（1か月前予約）、第一会議室（抽選により確保）を利用する。
ただし、1）施設の使用許可が不確定 2）必要な教材、コピー機、事務用品の保管問題があり、他の教室同様、独自で使用可能な場所の確保が課題となる。
 - 2. 新松戸教室の社会的役割の充実：
地域における外国ルーツの子どもたちへの学力向上支援活動は日本の国力の底上げを図るために必要不可欠な取り組みである。
日本語が理解できずに日々の学習や進学に苦勞する生徒たちを支援するため、スタッフの充実と運営基盤の強化を行い地域、行政との連携を図り地域に密着した頼れる教室作りを目指していく。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	当会からの拠出金	¥ 55,600	¥ 84,617	¥ ▲29,017	当会の会計より拠出
	生徒の参加費用	¥ 120,000	¥ 69,000	¥ 51,000	生徒参加費用500円/回 3学期は緊急事態宣言の為休講
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 175,600	¥ 153,617	¥ 21,983	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 475,600	¥ 453,617	¥ 21,983	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 90,000	¥ 90,000	¥ 0	日本語ボランティアスタッフ養成講座 全9回講師費用
	使用料及び賃賃料	¥ 64,800	¥ 17,610	¥ 47,190	新松戸市民センター会議室使用料及びNPO法人まつどくらしの助っ人 教材保管料
	消耗品費	¥ 144,000	¥ 207,355	¥ ▲63,355	養成講座使用テキスト：初級1, 2練習帳1, 2 各600円/冊 合計90冊 計54000円 使用教材：漢字だいすき、中学生の日本語、千葉県高校入試問題等 合計85冊 計153355円
	消耗品費	¥ 13,000	¥ 16,434	¥ ▲3,434	コロナ対策用マスク、消毒液、教室使用ノート、文具、コピー用紙、ファイル、クリアホルダー等
	通信運搬費	¥ 10,900	¥ 0	¥ 10,900	DM等による広報を行わなかったため未支出
	食糧費	¥ 900	¥ 1,787	¥ ▲887	講師用飲料
	印刷製本費	¥ 32,000	¥ 17,078	¥ 14,922	養成講座、生徒募集チラシ
				¥ 0	
		対象経費の合計 (D)	¥ 355,600	¥ 350,264	¥ 5,336
(その他) 経費	食糧費			¥ 0	
	交通費及び日当	¥ 120,000	¥ 100,600	¥ 19,400	スタッフ日当500円 交通費実費
	通信運搬費等関連 (対象外)	¥ 0	¥ 2,753	¥ ▲2,753	教材宅配費、振込手数料等
	その他経費の合計額 (E)	¥ 120,000	¥ 103,353	¥ 16,647	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 475,600	¥ 453,617	¥ 21,983	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

飲料水

NO	月	日	科目	摘要	支払	備考
1	7	1	食糧費	飲料水（講師用）	216	消耗品費領収書に有り
2	7	8	食糧費	飲料水（講師用）	216	消耗品費領収書に有り
3	7	10	食糧費	飲料水（講師用）	216	
4	7	22	食糧費	飲料水（講師用）	206	
5	7	24	食糧費	飲料水（講師用）	237	
6	7	29	食糧費	飲料水（講師用）	240	
7	7	31	食糧費	飲料水（講師用）	240	
8	8	19	食糧費	飲料水（講師用）	216	
	合計				1,787	

印刷製本費

NO	月	日	科目	摘要	支払
1	4	4	印刷製本費	生徒募集チラシ(日本語-英語)	2,911
2	4	4	印刷製本費	生徒募集チラシ(日本語-中国語)	2,911
3	4	6	印刷製本費	養成講座募集チラシ	1,397
4	6	24	印刷製本費	生徒募集支所配布用	2,002
5	12	28	印刷製本費	日本語教材印刷代	2,880
11	8	20	印刷製本費	コピー代	752
12	9	28	印刷製本費	コピー代	440
13	9	28	印刷製本費	コピー代	205
16	9	16	印刷製本費	コピー代	60
17	9	23	印刷製本費	コピー代(領収書6枚)	770
18	10	29	印刷製本費	コピー代	210
19	11	11	印刷製本費	コピー代(領収書7枚)	345
21	9	30	印刷製本費	コピー代	1,255
24	11	18	印刷製本費	コピー代	300
25	11	25	印刷製本費	コピー代	100
27	12	2	印刷製本費	コピー代	205
28	12	16	印刷製本費	コピー代	30
29	12	23	印刷製本費	コピー代	20
30	12	22	印刷製本費	コピー代	45
9	7	22	印刷製本費	コピー代(48枚x5)	240
				合 計	17,078

消耗品

NO	月	日	科目	摘要	支払	備考
1	6	4	消耗品費	マスク代	541	
2	6	5	消耗品費	ハンドジェル	1,078	
3	6	16	消耗品費	名刺カード、名札	880	
4	6	30	消耗品費	クリアホルダー・アタッシュケース	880	
5	6	30	消耗品費	マーカー、ハサミ他	825	
6	7	1	消耗品費	ウエットティッシュ他	433	654円(飲料水216円,レジ袋5円除く)
7	7	8	消耗品費	マグネットクリップ他	1,210	1,430円(飲料水216円、レジ袋4円除く)
8	7	19	消耗品費	光沢紙、クリアホルダー他	660	
10	8	20	消耗品費	クリアファイル	932	
14	8	30	消耗品費	ビニールネットケース他	660	
15	9	16	消耗品費	キャンパスノート10冊	1,100	
16	9	16	消耗品費	ファイル、単語カード、語彙フラッシュカード(※1)	770	
19	10	6	消耗品費	ファイル	110	
20	9	29	消耗品費	非接触型体温計	4,975	
22	8	31	消耗品費	文具	660	
23	11	10	消耗品費	文具	500	
26	11	27	消耗品費	文具	220	
				合計	16,434	

報償費

月	日	科目	摘要	支払
8	19	報償費	日本語養成講座中山先生支払	90,000
合 計				90,000

消耗品費（教材用書籍購入）

NO	月	日	科目	摘要	支払
1	8	3	書籍購入費	JSL学習語彙・漢字ドリル	1,760
2	8	19	書籍購入費	講習会用テキスト代金	54,000
3	8	12	書籍購入費	中学数学学習用語集（英・中）	4,800
4	9	7	書籍購入費	中高生のための学習語彙他(3冊)	5,280
5	9	7	書籍購入費	中学生のにほんご学校生活編(5冊)	11,000
6	9	7	書籍購入費	外国人生徒のための日本語基礎編	2,200
7	9	9	書籍購入費	中学数学国語教科書ガイド(7冊)	14,083
8	9	17	書籍購入費	教科書代	1,743
9	9	25	書籍購入費	こどものにほんご<1>外国人の子どものための日本語	2,200
10	9	25	書籍購入費	こどものにほんご<1>れんしゅうちょう他3点	6,600
11	9	25	書籍購入費	こどものにほんご<2>れんしゅうちょう他3点	6,820
12	10	14	書籍購入費	中学生のにほんご学校生活編(4冊)	8,800
13	10	14	書籍購入費	こどものにほんご<1>れんしゅうちょう3点	3,300
14	10	19	書籍購入費	教科書代	1,870
15	11	12	書籍購入費	かんじだいすき 6冊（領収書3枚）	12,650
16	3	4	書籍購入費	ことわざかるた	1,320
17	3	8	書籍購入費	多文化フリースクール教材	15,750
18	4	16	書籍購入費	教科書代	8,490
19	9	18	書籍購入費	教科書代	4,413
20	9	24	書籍購入費	教科書代	2,993
21	7	17	書籍購入費	教科書中1 数学、理科	1,357
22	9	18	書籍購入費	高校入試数学ドリル他	1,265
23	10	9	書籍購入費	本代	1,100
24	10	30	書籍購入費	千葉県合格できる数学	660
25	11	28	書籍購入費	千葉県高校入試問題集	935
26	9	22	書籍購入費	ハイクラスドリル国語	1,320
27	9	5	書籍購入費	10分間復讐ドリル3冊	1,716
28	11	21	書籍購入費	学習参考書2冊	2,640
29	3	4	書籍購入費	こどもしごと絵じてん	2,090
30	3	4	書籍購入費	こどものにほんご (2,200x11)	24,200
				合計	207,355

使用料及び賃貸料

NO	月	日	科目	摘要	支払
1	7	24	使用料及び賃借料	新松戸市民センター使用料	540
2	7	29	使用料及び賃借料	新松戸市民センター使用料	270
3	7	31	使用料及び賃借料	新松戸市民センター使用料	270
4	9	28	使用料及び賃借料	松戸くらしの助っ人への箱保管料	1,500
5	9	16	使用料及び賃借料	新松戸市民センター使用料	380
6	10	29	使用料及び賃借料	松戸くらしの助っ人への箱保管料(10月分)	1,500
7	11	11	使用料及び賃借料	新松戸市民センター使用料	330
8	11	26	使用料及び賃借料	松戸くらしの助っ人への箱保管料(11月分)	1,500
9	12	2	使用料及び賃借料	新松戸市民センター使用料	660
10	10	7	使用料及び賃借料	新松戸市民センター使用料	550
11	11	18	使用料及び賃借料	新松戸市民センター使用料	330
12	11	25	使用料及び賃借料	新松戸市民センター使用料	1,140
13	12	9	使用料及び賃借料	新松戸市民センター使用料	990
14	12	16	使用料及び賃借料	新松戸市民センター使用料	990
15	12	23	使用料及び賃借料	新松戸市民センター使用料	660
16	12	22	使用料及び賃借料	松戸くらしの助っ人への箱保管料(12-3月分)	6,000
合 計					17,610

松戸市における災害支援の文化を
創造する事業

特定非営利活動法人
ディープデモクラシー・センター

活動状況報告書

1 事業名称 松戸市における災害支援の文化を創造する事業

2 実施主体

■団体名：特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター

従事者数：8名

団体概要：この法人は、社会の多様性を重視し、自治・自律・自給型地域づくりを推進する個人、市民団体に対してその活動の助言、支援に関する事業、および、その人材の育成に関する事業を行い、もって住民参加による市民社会の成熟、発展に寄与することを目的とする。

3 事業の実施内容

I 連続講座の実施【事業計画の5回の講座・5回のワークショップを8回の講座・1回のワークショップ・1回の講習会（ブルーシート展張）として実施】

日付	作業内容
6月1日～10日	事業企画打ち合わせ・講師スケジュール調整
7月10日～20日	チラシの企画及び作成
7月20日～	広報活動
9月1日～10日	打ち合わせ及び準備
10月18日	○講座1「被災地で支援を続けるということ」参加者15名 ○講習会1「今後の台風被害に備えて」参加者10名（講師・一般社団法人ピースボート災害支援センター 川村勇太さん・川村美保子さん）実施〈会場：まつど市民活動サポートセンター〉
10月24日	○講座2「災害発生時のIT支援について考える」参加者10名（講師・情報支援レスキュー隊 佐藤大さん）【リモート開催】 「三者連携-災害に備えた地域のネットワークづくり」参加者14名 ○講座3（講師・全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 明城徹也さん）【リモート開催】 ○講座4「NPOとして関わる災害ボランティアセンター」参加者13名（講師・一般社団法人ピースボート災害支援センター 上島安裕さん）【リモート開催】実施〈会場：まつど市民活動サポートセンター〉
10月25日	○講座5「災害発生時の避難所運営について学ぶ」参加者12名（講師・国際青少年センターYMCA 東山荘・日本YMCA研究所 山根一毅さん）

	<p>ん)【リモート開催】</p> <p>○講座6「自然災害発生時のボランティアコーディネーターとは」参加者18名（講師・特定非営利活動法人ADRA Japan 小出一博さん）実施〈会場：まつど市民活動サポートセンター〉</p>
11月21日	<p>○講座7「台風15号（令和元年房総半島台風）からの1年を振り返る」参加者14名（講師・千葉南部災害支援センター 加納基成さん）</p> <p>○講座8「災害発生時の中間支援組織の役割を考える」参加者12名（講師・ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 鍋嶋洋子さん）</p> <p>○ワークショップ1「災害に備え、地域資源の見える化をしよう！」参加者11名実施〈会場：まつど市民活動サポートセンター〉</p>

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、オンラインでの開催への変更を望む声が多くあり、目標としていた【参加団体数25 参加人数300】に対し、実際には、参加団体18団体、参加人数129人と伸び悩みがあった。新型コロナウイルスの感染拡大によりやむを得ない部分もあるが、災害に対する関心の低さも考えられ、今後の広報について、質量ともに検討が必要。

(2) 取り組んだ課題の解決について

松戸市におけるNPO・市民活動団体の災害対応力の不足、受援力やコーディネーター力の不足という課題を、見える形で解決することはできなかった。

しかし、中間支援組織、行政担当課の、災害時における三者連携の必要性の理解を促進することはできた。

5 今後の事業展開

地域の市民活動団体・NPOに、自らが災害支援の主体となる、という意識が希薄であるということが、事業を行うことで見えてきたように思う。災害対応力や受援力のアップを図るには、参加団体、参加人数とも目標を達しすることができなかったこともあったが、さらなる、地域運営に関わるNPO・市民活動団体のエンパワーメントと、多様な支援主体の一部としての意識醸成が必要と思われる。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 57,000	¥ 78,159	¥ ▲21,159	事業費の一部を団体の会計より拠出
	講座参加料	¥ 100,000	¥ 0	¥ 100,000	受講料を無料に変更したため
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 157,000	¥ 78,159	¥ 78,841	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 237,403	¥ 62,597	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 457,000	¥ 315,562	¥ 141,438	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 280,000	¥ 240,000	¥ 40,000	外部講師謝礼金 30,000円×8回
	印刷製本費	¥ 20,000	¥ 18,850	¥ 1,150	チラシ印刷外注 1000枚 18,850円
	消耗品費	¥ 22,000	¥ 4,932	¥ 17,068	文具(ワークショップ資材) 1,767円 配付資料印刷用紙 3,165円
	委託料	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	未実施
	通信費	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	未実施
		対象経費の合計(D)	¥ 342,000	¥ 263,782	¥ 78,218
(その他経費)	食糧費	¥ 25,000	¥ 15,000	¥ 10,000	スタッフ昼食代 10,000 (500×5人×4日) スタッフ夕食代 5,000 (500×5人×2日)
	交通費	¥ 25,000	¥ 31,600	¥ ▲6,600	スタッフ交通費(加納) 2,382 (小倉入口~上総湊~松戸~浅間台)×2×6日(桑田) 377 (新松戸~松戸~浅間台)×2×4日
	講師交通費	¥ 65,000	¥ 5,180	¥ 59,820	小出一博1,988 (保田~松戸~浅間台)×2 鍋嶋洋子602 (検見川浜~松戸~浅間台)×2
		その他経費の合計額(E)	¥ 115,000	¥ 51,780	¥ 63,220
	合計額(F) = (D+E)	¥ 457,000	¥ 315,562	¥ 141,438	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 62,597
------------	----------

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 78,159	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 78,159	
市	市民活動助成金	¥ 237,403	
	合計額	¥ 315,562	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 240,000	講師謝礼 川村勇太・川村美保子（一般社団法人ピースポート災害支援センター）30,000円×2回 上島安裕（一般社団法人ピースポート災害支援センター）30,000円×1回 佐藤大（特定非営利活動法人情報支援レスキュー隊）30,000円×1回 明城徹也（特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）30,000円×1回 山根一毅（財団法人日本YMCA同盟）30,000円×1回 小出一博（特定非営利活動法人ADRA Japan）30,000円×1回 鍋嶋洋子（認定特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ）30,000円×1回
	印刷製本費	¥ 18,850	チラシ印刷代（1000枚）@18.85×1,000枚
	消耗品費	¥ 4,932	文具（ワークショップ資材）（クリアファイル100枚入781円、クリップボード493円×2枚）1,767円 配付資料印刷用紙（500枚×10冊） 3,165円
	対象経費の合計	¥ 263,782	
その他経費	食糧費	¥ 15,000	スタッフ昼食代 10,000円（500×5人×4日） スタッフ夕食代 5,000円（500×5人×2日）
	交通費	¥ 31,600	スタッフ交通費（加納）28,584円 2,382円（小倉入口～上総湊～松戸～浅間台）×2×6日 スタッフ交通費（桑田）3,016円 377円（新松戸～松戸～浅間台）×2×4日
		¥ 5,180	講師交通費 小出一博 3,976円 1,988円（保田～松戸～浅間台）×2 講師交通費 鍋嶋洋子 1,204円 602円（検見川浜～松戸～浅間台）×2
	その他経費の合計	¥ 51,780	
	合計額	¥ 315,562	

よく生き、よく逝くための
基礎知識普及事業

一般社団法人
コスモス成年後見サポートセンター
千葉県支部

活動状況報告書

1 事業名称 よく生き、よく逝くための基礎知識普及事業

2 実施主体

■団体名：一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター千葉県支部

従事者数：20名

団体概要：千葉県内の高齢者、障害者等（以下「高齢者等」という。）が自らの意思に基づいた日常生活が過ごせるよう、権利の擁護と財産の管理等について支援することにより高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的として、平成25年10月25日、日本行政書士会連合会の主導の下に設立された。会員は全て千葉県内に事務所を有する行政書士で構成され令和3年2月1日現在の会員数は92名。

3 事業の実施内容

I 六実六高台地域での実施

日 付	作 業 内 容
4月20日～21日	事業企画打ち合わせ、チラシの企画及び作成（包括様）
7月20日～21日	六実六高台地域包括支援センターと進行の打合せ（メールと電話）
8月5日	講師との講演会打合せ
8月28日	講演会及びワークショップの実施 新松戸市民センター 講師：コスモス成年後見サポートセンター 羽田久美子 参加者13人・包括3名・コスモス4名 計20名

II 新松戸地域での実施

日 付	作 業 内 容
4月22日	事業企画打ち合わせ、
4月23日、5月10日	新松戸地域包括支援センターと進行の打合せ（電話）
5月10日～6月3日	チラシ配布（町会様）・訪問等のPR活動
5月20日	講師との講演会打合せ
6月4日	講演会及びワークショップの実施 松戸市民会館

	講師：コスモス成年後見サポートセンター 久保啓二 参加者 18人・包括 2名・コスモス 5名 計 25名
--	---

Ⅲ 明第一地域での実施

日 付	作 業 内 容
4月10日～12日	事業企画打ち合わせ、チラシの企画
5月13日、5月16日	明第一地域包括支援センターと企画と進行の打合せ（メールと電話）
5月18日	チラシの作成・配布（包括様）
5月23日～6月13日	訪問等のPR活動 急遽2回に分けることになる
5月31日、6月12日	講師との講演会打合せ
10月27日 *令和3年1月29日 *1/29は、10/27満席のため急遽開催	講演会及びワークショップの実施 松戸勤労会館（両日とも） 講師：コスモス成年後見サポートセンター 大久保清（10/27） 岩本章子（1/29） 10/27参加者20名・市役所3名・包括2名・コスモス6名 合計31名 1/29参加者10名・包括2名・コスモス5名 合計17名

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

<p>自分自身や生計において支柱となる親族が死に直面する状況を想定して、その時に現れる様々な課題のうち、特に「介護」「医療」「死亡時の手続」「死後の事務」について、コスモス成年後見サポートセンター会員が講義し、また「その時」の課題解決に有用なエンディングノートの作成のワークショップを通じて、何が課題となるか、その課題についてどのような意思表示を残すことが重要か、ということについて参加者の理解を深めることができた。</p> <p>なお、コロナ禍のなか、当初予定していた医師等外部講師への依頼及び会場確保が困難な状況となり、内部会員が講師を担当し、感染状況をにらみながらの分散開催とならざるを得なかった。それでも、延べ3会場の合計で73名が来場し、設定された定員数とほぼ同じ参加者数となった。また、準備したエンディングノートも、打合せ時の説明用、当日参加者及びスタッフ使用分、さらに参加者持ち帰り用として合計150冊が使用された。</p>

(2) 取り組んだ課題の解決について

<p>「死」に際した市民が「介護」「医療」「死亡時の手続」「死後の事務」について抱える課題は、単独で解決できるものではなく相互に密接に関連していることから福祉・医療・法律</p>

と行政が緊密に連携して解決する必要がある、ということについて、参加した市民のみならず、企画や動員に協力をいただいた地域包括支援センターにもご理解いただけた。

5 今後の事業展開

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、大規模な会場で多人数が集合して行うライブイベント形式での事業実施は困難な状況が継続するものと思われるが、市民の権利擁護を図るうえで医療・福祉・行政と法律の連携は今後ますます重要であり、引き続きその重要性を理解していただくためのエンディングノートを利用した周知活動について、新しい生活様式に対応したスタイルも取り入れて継続するとともに、松戸市内で活動を行っている医療・福祉の事業者等とさらに連携を深めることができるような支援者向けのイベントを企画・実施したいと考える。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 136,480	¥ 33,413	¥ 103,067	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 136,480	¥ 33,413	¥ 103,067	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 9,475	¥ 290,525	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 436,480	¥ 42,888	¥ 393,592	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 240,000	¥ 0	¥ 240,000	外部講師派遣をコロナで内部講師としたため	
	消耗品費	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	紙 8580枚+予備は領収書不備のため計上せず	
	消耗品費	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	名札、セロテープ等消耗品は領収書不備のため計上せず	
	食糧費	¥ 480	¥ 0	¥ 480	内部講師となったため対象外	
	印刷製本費	¥ 9,000	¥ 3,989	¥ 5,011	エンディングノート印刷 代 @26,595円×150部	
	印刷製本費	¥ 85,000	¥ 6,539	¥ 78,461	レジュメ印刷代 4,739円 (20部 ラクسل) コピー代 9/6: 10円×75枚・10/27: 5円×30枚、30円×30枚)	
	使用料及び賃借料	¥ 6,000	¥ 0	¥ 6,000	地域包括支援センターにより手配したため使用せず	
	使用料及び賃借料	¥ 9,000	¥ 0	¥ 9,000	器材レンタル (プロジェクター3,000円×3会場) はコロナ対策で使用せず	
		対象経費の合計 (D)	¥ 364,480	¥ 10,528	¥ 353,952	
	(その他経費)	交通費	¥ 36,000	¥ 12,360	¥ 23,640	会員交通費
活動費		¥ 36,000	¥ 20,000	¥ 16,000	会員日当@1,000円×20名	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 72,000	¥ 32,360	¥ 39,640		
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 436,480	¥ 42,888	¥ 393,592		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 290,525
------------	-----------

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 33,413	内訳 対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 33,413	
市	市民活動助成金	¥ 9,475	
	合計額	¥ 42,888	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	印刷製本費	¥ 3,989	エンディングノート印刷代@26,595円×150部（事業外分まとめて3,000部印刷で79,787円）
	印刷製本費	¥ 6,539	レジュメ印刷代 4,739円（20部 ラクシル） コピー代 9/6：10円×75枚・10/27：5円×30枚、30円×30枚）
	対象経費の合計	¥ 10,528	
その他 経費	交通費	¥ 12,360	参加会員の交通費の合計
	活動費	¥ 20,000	20名×日当1000円
	その他経費の合計	¥ 32,360	
	合計額	¥ 42,888	

ギャンブル依存症予防啓発事業

公益社団法人

ギャンブル依存症問題を考える会

活動状況報告書

1 事業名称 ギャンブル依存症予防啓発事業

2 実施主体

■団体名： 公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会

従事者数： 15名

団体概要： 主にギャンブル依存症でお困りの当事者や家族に必要な情報や援助の提供を目的として結成された。また、依存症全般に対する誤解や偏見を払拭し、より良い支援体制が構築されるよう社会にも働きかけている。

3 事業の実施内容

「知ろう！依存症基礎講座 ～高知東生氏と精神科医に学ぶ～」の実施

日 付	作 業 内 容
令和2年4月～ 5月	開催会場の検討・調査、広報先のリストアップ、作業分担決定
5月25日	緊急事態宣言解除に伴い開催時期の検討
7月5日	松戸市民劇場抽選会参加→11月21日（土）に開催決定
7月	外部講師への参加依頼、講師と内容決定
8月	チラシ案作成（講座タイトル等も検討）→印刷（業者へ依頼）
8月下旬	広報まつど掲載依頼（11月1日発行分）
9月1日	市民劇場11・12月のイベントガイドへの掲載依頼
9月中旬	○松戸市助成金事業実施団体PRのパネル展示 ○地域新聞イベント掲載申し込み ○各報道機関へ問い合わせ、イベント資料の検討依頼 ○参加申し込み受付→締切日まで継続
9月25日	○松戸市役所訪問、 ・市民自治課に「市民活動情報コーナー等掲示申請書」にて各所へのチラシ配架依頼 ・自立支援センター、生活支援課へ広報とチラシの配架依頼 ○市民劇場、松戸競輪、市内メンタルクリニック等へチラシ持ち込み、配架依頼
10月15日	広報まつどに掲載
10月中	○広報活動のため各所訪問、講座案内とチラシ配架等依頼 ・松戸市内保健所、メンタルクリニック

	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市議会議員岡本ゆうこ氏事務所 ・近隣都市の市役所、保健所、 ○講座案内とチラシ郵送 <ul style="list-style-type: none"> ・松戸市内及び近隣都市内の大学 ○ファクシミリにてチラシ送信 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉日報、千葉テレビ等
10月23日	○リビング柏に掲載 ○松戸市民劇場にて舞台打ち合わせ
11月1日	広報まつど、市民劇場イベントガイドに掲載
11月10日	当日役割分担決め
11月17日	都内事務所にて当日の備品準備→市民劇場へ発送
11月21日	講座の開催（於：松戸市民劇場） 講師：昭和大学附属烏山病院 常岡俊昭先生 ASK 依存症予防教育アドバイザー・俳優 高知東生氏 (公社)ギャンブル依存症問題を考える会 代表理事 田中紀子 一般参加者：112名

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

当会は日ごろの活動の中で、依存症についての誤解や偏見が多く、実際に依存症の問題に苦しむ人たちが、解決に繋がりにくくなっている現状を実感しています。依存症問題は身近で、問題の解決には様々な手立てがあり、回復できることを多くの方に知っていただき、解決につながってほしい、との願いから今回の事業を企画しました。

講座当日は一般参加者が112名あり、事前に設定した「参加者150人」の目標は、コロナ禍の状況ではほぼ達成されたと思っております。また、当日実施したアンケートによると、「依存症に対する理解が深まった」等の好意的なコメントが50通寄せられ、これは参加者の約5割にあたります。さらにSNSでも当日の参加者の「よかった」との感想が複数投稿されました。

講座では、依存症の治療にあたる医療現場と、家族支援現場の第一線で活動する講師による講義があり、また依存症当事者の体験談も語られるという内容の濃いものでした。アンケートのコメントからも、多くの参加者が講座前よりも理解を深められたことがうかがわれ、「150名の参加者を集め、依存症の理解を深めてもらう」目標は概ね達成できたと考えています。

さらに事業計画書では、講座後にギャンブルの問題に触れた場合、問題解決のために行動できるようになることも目標として掲げていました。これについては今後の公共の相談機関や当会の相談の受付状況から、達成の度合いを推測できると考えています。

(2) 取り組んだ課題の解決について

依存症の正しい知識が知られていないという課題に対し、講座の会場に多くの参加者が集まり、講義を受け、理解を深めていただいたことは依存症の予防啓発活動の成果です。また、準備の段階から市役所や保健所等市内の公共機関を訪ね、実際に依存症問題の存在をお知らせできたこと自体、課題の解決にかかわることだと思っています。

しかし今回、112名の参加申し込みのうち松戸市民の参加は27名でした。市内の各所に広報活動を行ったことや、チラシを配架していただいたこと、広報まつどに掲載していただいたこと等を考えると、もう少し松戸市民が集まってもよかったのではないかと感じています。講座の参加につながる広報の仕方を工夫する必要性がありました。

5 今後の事業展開

今回、助成金の交付を受けて予防啓発活動を行うことができたことをきっかけに、依存症について正しく理解してくださる市民がさらに増えるよう次のように努力してまいります。

- ・ 広報活動をさせていただいた自立支援センターや、生活支援課、保健所等で、依存症にかかわる案件などを当会につなげてくださるよう再度連携を依頼します。
- ・ 市内で活動する自助グループメンバーと密に連絡を重ね、必要と思われる情報や支援を提供します。
- ・ これまでの地道な活動を今後も継続し、より多くの問題を適切に解決できるよう、対応してまいります

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 57,000	¥ 59,269	¥ ▲2,269	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 57,000	¥ 59,269	¥ ▲2,269	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 243,000	¥ 242,951	¥ 49	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 300,000	¥ 302,220	¥ ▲2,220	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 80,000	¥ 89,096	¥ ▲9,096	外部講師謝礼 (常岡俊明医師：33,411、高知東生氏：55,685)
	食糧費	¥ 500	¥ 416	¥ 84	講師飲料水 108円×2本 100円×2本
	消耗品費	¥ 5,500	¥ 6,105	¥ ▲605	文具6,105円 (セロテープ180円、ボールペン750円、マジックペン600円、ガムテープ540円、フォチキス900円、クリアファイル600円、A4コピー用紙5バック1,980円、消費税555円)
	消耗品費	¥ 0	¥ 1,809	¥ ▲1,809	(コロナウイルス感染症対策費) スキットガード627円・マスク1,078円 ゴミ袋104円
	印刷製本費	¥ 35,000	¥ 8,400	¥ 26,600	チラシ作成・アンケート作成
	印刷製本費	¥ 99,000	¥ 51,700	¥ 47,300	配布冊子印刷代 (マンガ冊子) @110円×470冊=51,700円
	使用料および賃借料	¥ 25,000	¥ 60,110	¥ ▲35,110	会場 市民劇場使用料及び音響機材使用料
	通信運搬費	¥ 25,000	¥ 52,310	¥ ▲27,310	チラシ資料発送 (切手22,540円・レターパック代24,050円・FAX代200円、宅配便1,290円) 講演会用荷物送料 4,320円
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 270,000	¥ 269,946	¥ 54	
(その他経費)	運営スタッフ交通費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	2000円×5名
	内部講師手当	¥ 20,000	¥ 22,274	¥ ▲2,274	田中紀子講師手当 22,274円
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 30,000	¥ 32,274	¥ ▲2,274	
	F) = (D+E)	¥ 300,000	¥ 302,220	¥ ▲2,220	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 49
------------	------

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 59,269	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 59,269	
市	市民活動助成金	¥ 242,951	
	合計額	¥ 302,220	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 89,096	外部講師謝礼（常岡俊明医師：33,411、高知東生氏：55,685）
	食糧費	¥ 416	講師飲料水 108円×2本 100円×2本
	消耗品費	¥ 6,105	文具6,105円（セロテープ180円、ボールペン750円 マジックペン600円、ガムテープ540円、 フォチキス900円、クリアファイル600円 A4コピー用紙5パック1,980円、消費税555円）
	消耗品費	¥ 1,809	（コロナウイルス感染症対策費） スキットガード627円・マスク1,078円・ゴミ袋104円
	印刷製本費	¥ 8,400	家族相談会チラシ（カラー片面）@8円×200枚=1,600円 依存症の誤解ケースチラシ（カラー片面）@8円×200枚=1,600円 ギャンブル依存症家族の心得チラシ（カラー両面）@16円×200枚=3,200円 アンケート（白黒）@1円×200枚=200円 ギャノマン松戸南ステップ（白黒）@1円×200枚=200円 たかりこチャンネルカラーチラシ（片面）@8円×200枚=1,600円
	印刷製本費	¥ 51,700	「知ろう！ギャンブル依存症」@110円×470冊=51700円
	使用料および賃借料	¥ 60,110	松戸市民劇場会場使用料 55,000円 設備使用料 5,110円
	通信運搬費	¥ 52,310	チラシ等資料発送 （切手84円140件・切手94円100件・切手63円10件・レターパック65件24,050円、FAX2件200円、宅配便1件 1,290円、定形外3件750円） 講演会用荷物送料 4,230円
		対象経費の合計	¥ 269,946
その他 経費	運営スタッフ交通費	¥ 10,000	2000円×5名
	内部講師手当	¥ 22,274	田中紀子講師手当
		その他経費の合計	¥ 32,274
	計 額	¥ 302,220	

笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業

浅間台笑劇研究部

活動状況報告書

- 1 事業名称 笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業
- 2 実施主体
- 団体名： 浅間台笑劇研究部
- 従事者数： 23名
- 団体概要： 千葉県生涯大学校浅間台教室地域活動学部卒業生を中心に平成28年1月に発足。主に高齢者施設で笑劇公演のボランティア活動を行い、社会福祉に貢献することを目的とした団体です。

3 事業の実施内容

① 高齢者福祉施設でのボランティア公演 **【事業計画より本活動を変更】**

ボランティア公演回数10回を計画したが、感染症蔓延で全く実施出来なかった。

② 一般劇場でのボランティア公演 **【事業計画より本活動を変更】**

一旦は令和3年1月20日を予定の上、松戸市民劇場を予約して準備を始めたが、その後、感染症の蔓延・拡大が続き、止む無く中止とした。

③ 新プログラムと脚本を作成する。

年度後半には感染症も収束してボランティア公演が出来るとの希望のもと、下表の通りに新プログラム作成と関連するワークを行った。

日付	ワーク
8.31	新シナリオ作成「戦後の歌謡ショー」
9.30	台本・舞台背景・音楽の作成と編集
10.27	配役の決定
都度	道具・衣装の作成と購入

④ 練習を定期的に行う。 **【事業計画より練習回数を変更】**

12回の練習を計画していた。年度初は中止していたが、感染症が少し下火になった8月から、年度後半には感染症も収束してボランティア公演が出来るとの希望のもとに新作の練習を始めた。

2回目の緊急事態宣言は発出された1月よりは再び中止として、結局5回の練習しか出来なかった。

日付	練習内容
8.28	今年度初顔合・今年度の活動方針の検討と合意
9.29	新プログラムの検討・台本の読み合わせ

10.27	配役決定・滑舌トレーニング・読み合わせ・歌練習
11.23	滑舌トレーニング・読み合わせ・歌練習
12.4	同上

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

活動期間中に、感染症の緊急事態宣言が2回発出される状況下、人が蜜となり、声を発する施設や松戸市民劇場でのボランティア公演は全て中止とした。

目標達成状況

具体的目標	評価対象	計画	実績
高齢者福祉施設でのボランティア公演	公演回数	10回	0回
	延観客	200名	0名
一般劇場でのボランティア公演	公演回数	1回	0回
	延観客	100名	0名
新プログラムを作成する	脚本及び関連物の作成	1本	1本
練習を継続的に行う	練習回数	12回	5回

(2) 取り組んだ課題の解決について

- ① 活動の中心であるボランティア公演が全く実施出来なかったことは、やむを得ない事情であった。(お客様も私達も、感染すると重症化するリスクの高い高齢者である)
- ② しかし、それを補完するテレ・パフォーマンス(公演のネット配信・ホームページの活用)の取組も無かった。公演を収録する集まりも危険と判断し実施しなかった。
- ③ 内部のワーク(練習・台本や道具衣装の作成)は、ある程度できた。
- ④ 松戸市の助成金使途の対象外である高額備品の購入に民間の助成事業を活用できた。

助成団体	購入した備品等
生命保険協会	単焦点プロジェクター・スクリーン
みずほ教育福祉財団	ノートパソコン
大同生命厚生事業団	道具運搬費・道具倉庫費

5 今後の事業展開

- ① 感染症の収束までは、ネット配信やDVD作成・配布等のテレ・パフォーマンスの実施を検討する。
- ② 松戸市の助成金は、来年度以降、制度上使用できないが、代替として民間のボランティア活動助成制度を活用する。
来年度は、麒麟福祉財団とパルシステム千葉の助成事業には既に応募済。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 41,000	¥ 6,400	¥ 34,600	事業費の一部を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	施設よりの謝礼金
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 51,000	¥ 6,400	¥ 44,600	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 56,613	¥ 243,387	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 351,000	¥ 63,013	¥ 287,987	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	¥ 0	¥ 60,000	公演 (公演未実施のため支出せず)	
	消耗品費	¥ 45,000	¥ 23,641	¥ 21,359	大小舞台道具	舞台背景画像 10点 9,900円 変換アダプター 1,800円 他
		¥ 20,000	¥ 14,424	¥ 5,576	舞台衣装他	防災頭巾 6点 5,845円 警官衣装 4,221円 他
		¥ 10,000	¥ 7,273	¥ 2,727	プリンターインク代	インク6色 7,273円
		¥ 6,000	¥ 327	¥ 5,673	文具費	コピー用紙 327円
		¥ 6,000	¥ 0	¥ 6,000	バルーンアート (公演未実施のため支出せず)	
		¥ 0	¥ 10,524	¥ ▲10,524	コロナ対策費	フェイスシールド 22個 7,235円 体温計 3,289円
	委託費	¥ 36,000	¥ 0	¥ 36,000	大小道具運搬費 (公演未実施のため支出せず)	
	使用料及び賃借料	¥ 6,000	¥ 3,960	¥ 2,040	練習会場	会場費 5回 3,960円
		¥ 63,000	¥ 0	¥ 63,000	音響機器リース代 (公演未実施のため支出せず)	
		¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	公演会場 (公演未実施のため支出せず)	
		¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	公演 照明音響操作 (公演未実施のため支出せず)	
		¥ 4,000	¥ 1,734	¥ 2,266	演目音源	6話音源 7曲 1,734円
	印刷製本費	¥ 20,000	¥ 1,130	¥ 18,870	公演 ポスター・パンフレット (公演未実施のため支出せず) 台本、会議資料等 コピー代で支出	1,130円
	通信費	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	アンケート、公演ポスター 送料 (公演未実施のため支出せず)	
		対象経費の合計 (D)	¥ 341,000	¥ 63,013	¥ 277,987	
(対象外)	雑費	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000		
				¥ 0		
	その他経費の合計額 (E)	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000		
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 351,000	¥ 63,013	¥ 287,987		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 243,387
-----	-----------

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 6,400	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 6,400	
市	市民活動助成金	¥ 56,613	
	合計額	¥ 63,013	

【支出】

科目	金額	内訳・説明事項 (用途など)	
助成金の交付対象経費	¥ 23,641	消耗品費 大小舞台道具 舞台背景画像 10点 9,900円 ベンチ 3,822円 変換アダプター 1,800円 ボルトナット 667円 橋げたドリル 932円 橋げた材料 3,333円 橋げた木材 2,867円 加工代 320円	
	¥ 14,424	舞台衣装他 防災頭巾 6枚 5,845円 警官衣装 4,221円 春樹の帽子 2,180円 エレキギター 2,178円	
	¥ 7,273	プリンターインク代 プリンターインク代 6色 7,273円	
	¥ 327	文具費 コピー用紙 327円	
	¥ 10,524	コロナ対策費 フェイスシールド 22個 7,235円 体温計 3,289円	
	¥ 3,960	使用料及び賃借料 練習会場 サボセン大会議室A 5回 3,960円	
	¥ 1,734	演目音源 6話音源 7曲 1,734円	
	¥ 1,130	印刷製本費 コピー代 会議資料 台本 1,130円	
		対象経費の合計	¥ 63,013
その他経費			
	その他経費の合計	¥ 0	
	合計額	¥ 63,013	